男女貞潔之理想　公娼廢止之主張
會長 島田三郎　副會長 安部磯雄

4—461

（明治四十四年八月一日第三種郵便物認可）
（大正七年一月一日印刷納本）毎月一回一日發行

廓清

第八巻第一號

□廓清時言……………………伊藤江南
□年頭國民の猛省を促す……前衆議院議長 島田三郎
□米國戰時の廓清運動…廓清會理事 油谷治郎七
□日本の國民性に就て…文學博士 井上哲次郎
□自由廢業と訴願(三)…辯護士 布施辰治
□二つの傾向……………早大理事成女校長 宮田脩
□大戰に就て我婦人に…法學博士 山脇玄
□兒童虐待問題………ドクトル 三田谷啓
□聯合軍慰問使を送る…文學士 小松武治
□偶感一束……………………福井壽郎
□米國婦人の活動………在米 益富政助
□婦人過剩と貞操問題…農學博士法學博士 新渡戸稲造
□廓清春秋……………元大連商業學校長 河合北洲

東京 廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

今年も、

お正月の朝から、
氣持の新しい

ライオン歯磨を

お使ひあそばせ。

▼そして毎日朝と晩とに歯をお磨きになりますと、決して齲歯には罹りません。

▼歯が健全であれば、身体も強壯ですから、一年中樂しい、愉快な日が送れます。

▼お上品な方にはライオン歯磨の煉製・水製をお薦め致します。

ライオン歯磨
ライオン石鹸
本舗 小林富次郎
支店

謹賀新年

祈會員諸君之清福

大正七年一月

廓清會本部

會長 島田三郎
副會長 矢島楫子
同 安部磯雄
理事 伊藤富士雄
同 内ケ崎作三郎
同 山田彌十郎
同 山本邦之助
同 松宮彌平
同 益富政助
同 小松武治
同 油谷治郎七
同 宮田脩
評議員 井上哲次郎
同 井上胤文
同 林歌子
同 原田助
同 西村勘之助
同 德江亥之助
同 大倉文次
同 小河滋次郎
同 緒方銈次郎
同 長田時行
同 加藤直士
同 高木貞衞
同 高島圓
同 根本正
同 名出保太郎
同 中津親義
同 鵜崎庚午郎
同 浮田和民
同 植村正久
同 栗原基
同 山室軍平
同 松浦有志太郎
同 牧野寅次
同 増田義一
同 福島四郎
同 小林富次郎
同 小崎千代子
同 江原素六
同 安藤太郎
同 佐島啓助
同 湯淺治郎
同 湯淺豐太郎
同 三輪田元道
同 三並良
同 宮川經輝
同 平岩愃保
同 平沼淑郎
同 日疋信亮
同 元田作之進
同 角倉賀造
同 角谷和市
主事 伊藤秀吉

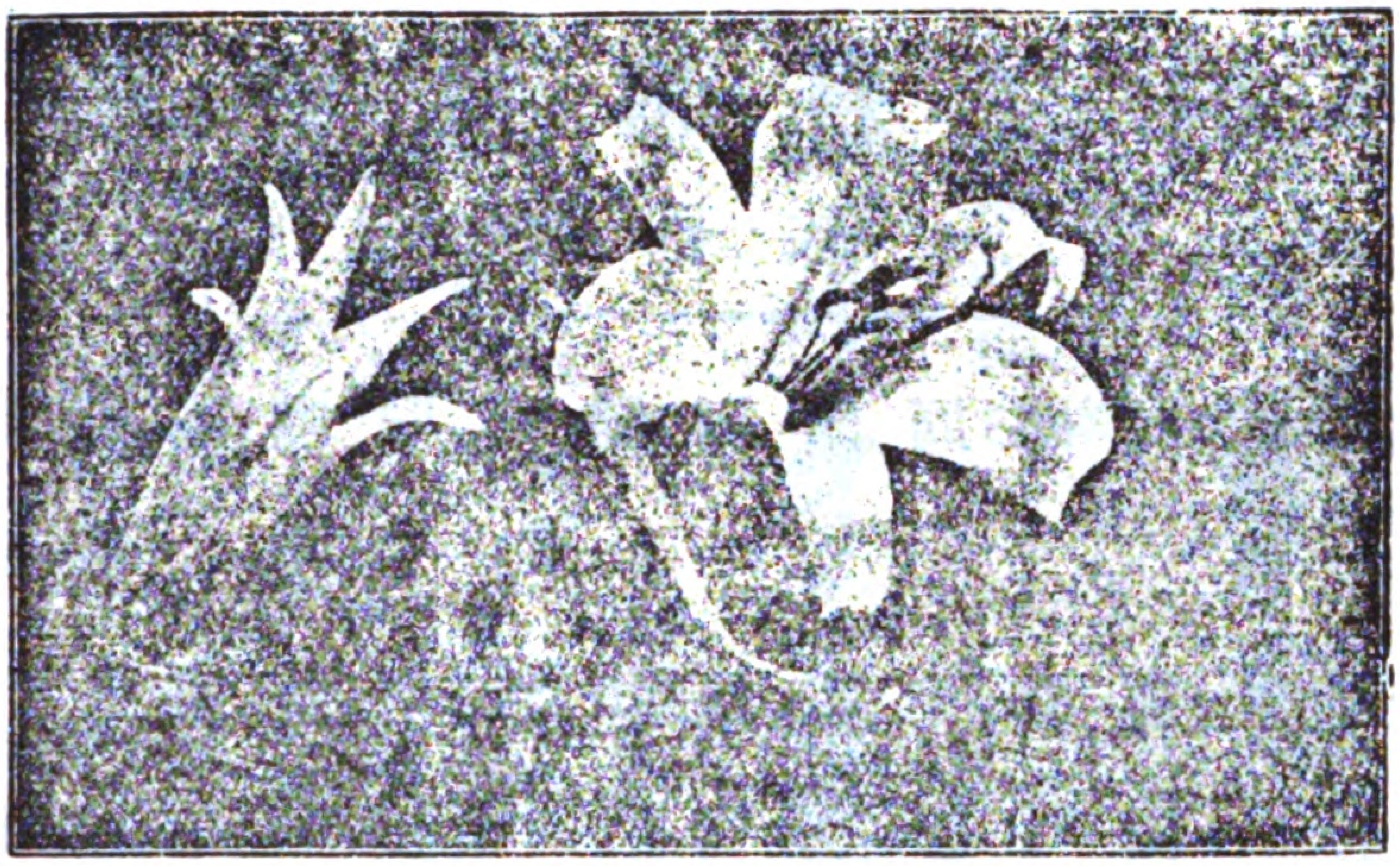
Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清

THE PURITY

大正七年一月

第八巻第一號



廓清時言

大正七年を迎ふ

多事なりし大正六年は暮れて、多望なる大正七年は明けぬ。朝暾東天に金箭を射れば、門前の松梢颯として既に春聲あり。萬里即ち同風、國運の隆昌と家運の祥福を祈り、都鄙をなべて歡呼す。

顧れば歐羅巴の天地、戰雲今猶漠々、屍山血河、慘絶を極めつゝあるに、我は獨り皷腹撃壌太平の美酒に醉ふ。然れども禍なる歐羅巴は幸を得んが爲めに戰ひ、幸なる我は禍を得んが爲めに樂しみつゝある事なき歟。

一年の謀は正月にあり、物心兩面の豫算編成は今日にあり。冀くば大晦日の總勘定に於て悔なからしめよ。今吾人が年頭に立ちて痛感する處のものは何ぞ、質實剛健の氣風次第に衰へて遊惰淫逸の風漸く一世を蔽はんとするの兆是也。試みに昨年に於ける公私兩娼を通じて狹斜の巷に投ぜられたる金額と人員とを前年來のそれに比せよ、誰か其の急激なる暴騰に一驚を吃せざらん。云ふ勿れ經濟界の潤澤の爲めに然りと。事實は元より然らん。然りと雖も經濟界の潤澤の故を以て墮落を認め、汚行を可なりとするの論結に至るべき理ある事なし。吾人は罪を正貨の異常なる膨脹に歸して、此の醜怪なる一大事實を當然として看過せんとするの思想を、虎よりも恐る可しとなす。

大戰爭が果して何れの時に終熄すべきかは元より妄りに逆賭すべきに非ざれども、吾人の直觀は何となく本年にあるが如き感あり。果して若し然りとせば、本年は世界の歴史に一期を劃すべき一大展開の時也。賣淫を公

許して淫逸に耽らんとする君子國の前途や、夫殆哉。

正義の妥協眞理の苟合

硝煙の裡に馳驅する者千數百萬、月を閲する事四十一。高價なる文明の犧となりし者幾何なるを知らざる今次の大戰亂の結果、男女の數に平衡を失し、勢ひ多數のオールドミスを作り、多數の性慾缺陷は遂に風俗の頽敗を現ずべく、或は國防上より人口の繁殖を望み、一夫一婦に對する思想は戰後動搖改變を免れずと說く者あり。正義の妥協、眞理の苟合は最も恐る可し。

動もすれば世人は『貞女兩婦に見えず』といふ道德の爲めに日清戰後多數の寡婦を出し、却つて風紀の紊れたる例を引き來りて、斯の如き道德は守らぬがよしとなす。之れ道德を墮落せしめて政策化し法律化するものにして、善惡の權威を失はしむるの論也。或はまた人間としての同情なき意見なりとなす者あり、斯の如きは同情の爲めに泥棒を是認するの人也。泥棒と雖も三分の理なからんや。吾人は斷じて正義の妥協を排し、凜然として眞理の情意投合を拒まざる可からず。

然れども記せよ吾人のいふ處は束縛せんとするに非ずして自覺を求めんとするに在り。善は之を行ふて樂しみとするの域に到らざる可からず、束縛の爲めに貞操を持し、不能の爲めに純潔を守るとも、吾人は其價値を知らざる也。

得て誇らず見て樂しめ

近時書畫骨董を弄ぶの風靡然として全國を襲ひ、殆んど中流以上の生活をなす者にして之れを手にせざる者あらば、以て沒趣味無風流の徒として齢せられざるの傾向あり、之れ趣味の向上に非ずして遊惰の一面なり。その甚しきに至りては一軸萬金を廉なりとし、一家の入札三百萬圓に及ぶ者少しとせず。

吾人は敢て玆にイーリーの經濟學を說かんとするに非ざれども、抑も美術は「見て」樂しむべく、「得て」誇るべきものに非ず。一度杖を公園に曳かんか、何人も『花卉折取る可からず』の立札を見るならん。若し市民にして其の爛熳たる美花を得て樂しまんと欲し、之を折らば忽ちにして公園は殺風景の原野と化し、市民の共同の樂園は一朝にして影を失ふなる可し。而して今日所謂風流の花盜人を目して公德心なき者として之を擯斥する程に、人類共存の理と利とを解し乍ら、美術品を強者の掠奪に委して社會を沙漠化せんとす。吾人は遊惰が生める骨董弄りを憎惡すると共に、美術品に對する社會の思想一變して、「得て」樂しむ事をなさず、衆と與に「見て」樂しむに至らん事を人類の幸福の爲に熱望する者也。（江南）

吉原遊廓に於ける大正六年中の遊客數及其金額

	遊客數	散財高
一月	一三八、三九六人	三四九、三三〇圓
三月	一三一、九七六	二八六、二五一
五月	一三五、九四八	二八七、九四八
七月	一二九、二二七	二九八、八三二
九月	一二七、九五五	三〇六、八九一
十一月	一四七、六七四	三七一、二三〇
合計	一、五七六、八〇五	三、七三九、七七五
五年同	一、二四〇、〇二八	三、五三三、〇八〇

	遊客數	散財高
二月	一二一、三八〇人	二六〇、八〇〇圓
四月	一六〇、九二八	三三七、六四八
六月	一三一、一八七	三六八、二九〇
八月	一三三、八六二	二八〇、七八六
十月	一四九、四四六	三一〇、〇二一
十二月	一三九、九〇六	四〇二、二九五

△尚洲崎遊廓に於けるものと之等の比較對照表は追って發表すべし

年頭國民の猛省を促す

前衆議院議長
廓清會長　島田三郎

多事なりし大正六年を送りて、吾人は茲に第七回目の新春を迎へた。同志諸賢と共に吾人は天馬の空を驅るが如く、本年の廓清運動の爲めに活躍したいものである。

今新しき年の初頭に立ちて吾人が特に痛切に感ずる事は、最近に於ける米國の狀況である。歐洲戰亂の影響は偶然にも我日本に多額の正貨を流入し、其急激不自然なる膨脹の結果、金錢を泡沫の如く消費して何等社會の公益に寄與せんとする處なき、成金輩の跋扈は最も誡むべき事である。新聞紙の報ずる處によると、神戸の常盤華壇に於て催されたる舟成金の懇親會費は一人前五百圓であつたといふ。一擧に數萬金或はそれ以上の利益を得た者の眼より見る時は、五百金の財貨或はいふに足らないであらうが、一方に零碎の喜捨を路頭に集めてゐる救世軍の慈善鍋と對比して如何の感がある。更に之を國民一般の生活より推し、其公共慈善矯風、乃至敎育國防の不備より推して痛憤の情なきを得ないではないか。而も彼等は此の豪奢を競ふて以て快とし、以て誇りとしてゐるのである。彼等の度し難きは卽ち止む可しとするも、爲めに射倖の人心を刺激し、輕佻浮華の風一世に漲らんとするに至つては默するを得ないのである。

先日森村市左衞門翁に會つた處が、森村翁が關西に行かれた時或る宴會は一夕の料理一人前五十圓であつた。そこで森村翁は私はまだこんな高い會費の宴會に出席する身分でないからと云つて斷り、出席しなかつたといふ事である。私は此話を聞いて流石に森村翁であると思つた。獨力貿易商を營んで政府にも誰にも頭を下げずに、立派に實業界に於ける一方の雄鎭となり、遂に男爵に列せられた人だけに違ふ。森村氏にしてそんな身分でないといふ事であれば、餘りそんな身分である人はない筈である。滔々たる濁流に抗して一人吾徒の爲めに萬丈の氣を吐かれたるは、痛快ならずとせず。

□

翻つて之を合衆國と比較せば如何。其の成金額に於ては我の如きは殆んどいふに足らざる程であ

るのに、最近同國より歸朝せる者の談によれば、獨逸の不義無道を鳴らして宣戰を布告するや、合衆國全土に在る幾百の私設鐵道會社は、政府の目的を助けんが爲め、一の條件一の不平すらなく擧つて軍隊及び軍需品の輸送に提供したのであつたが、更に吾人の最も感激に堪えざるものはデトロイトにある或る自働車會社は、平均二分間に一臺の自働車を製作し得る程の會社であるが、政府より軍器製作所に使用したいが貸與するや否やの相談を受けた會社の事務長は、直に手紙に其旨を認めて支配人に送つたが、支配人は卽座に當會社の全部を擧げて政府の爲すが儘に任といふ事にして了つた。而もそれに對して金錢に關する問題は一切口にせなかつたさうである。如何に其態度の潔白にして而も憂國の至情の充溢せるかを察すべく、一通の通知書によつて想像の出來ない程の大會社を直に政府の爲すが儘に任すべしとした彼の支配人の行動は、唯其一例であつて我森村翁の如く曉天の寥々たる星ではない。平時三十萬の常備軍が今日二百萬の募兵を歐羅巴に送る計劃の實現を見んとするに徵するも、之を知る事が出來る。

□

更に最も驚く可きは自ら食物の制限をなさんとしてゐる事である。彼等は自分達の食糧を制限すれば歐羅巴に於ける聯合軍の食糧を浮す事が出來ると云つて威張つてゐるのである。といふのは誰でも同國を旅行した者の知るが如く、米國人の卓子の上に盛らるゝ食物は二人分ある。非常にかさが多い。だから我々が二人で旅行するならば一皿づゝ別なものを注文して、半皿づゝ二人前食べるのが普通になつてゐる位である。今日の米國人の意氣込を以てしたならば、此の實行も決して困難ではない。殊に吾人の注意せなければならぬのは、それ等の愛國的の行爲がすべて自發的で、少しも法律や命令に拘束されてするのではない事である。亞米利加人の活動振りは確に獨逸人に比して優つてゐる我々が想像する樣なものではない。皆自動的で、他の要求によりするが如き他動的の國民ではない。また彼等は常に一旦緩急ある場合には、いつでも軍人になり得るだけの思想と體力とを有してゐる。若し之を我國に當篏めて考へたならばどうであるか、志願兵を募つて常備軍の幾倍の軍人を得るといふ事が可能な事かどうか。

吾人は今や大正七年の初頭に立つて、政治に實業に乃至一切の國民生活が、世界と共に醒めて緊張し來るでないならば國家的危機の眼前であつて、今日は實に猛省の時たるを叫び熱望する次第である

大戰亂と廓清運動（其一）

戰時に於ける米國の廓清運動

廓清會理事　油谷治郎七

一

戰爭は最も多く廓清運動を要求す。如何となれば、

第一　血氣に燃ゆる多くの青年を驅つて檢束少き地にあらしむるがゆゑに。

第二　殺伐なる生活に狃つて性的誘惑に陷り易きがゆゑに

第三　不倫なる情交は多く恐るべき病毒の冒すところとなるがゆゑに。

第四　軍人間に花柳病傳染の結果は其士氣を損し其體力を害して戰鬪力を減損するがゆゑに。

第五　出征軍人が家に歸るの日に於て純潔なる家庭に病毒を齎すこと多きがゆゑに。

第六　花柳病毒に冒されたる軍人は純潔なる處女に其病毒を傳播するの媒介となること少からざるがゆゑに。

歐洲大戰の勃發せるのち、歐洲各國殊に英獨のごときは爭つて廓清運動に力を盡し、以て花柳病毒の傳播を防ぐに努めてゐる。（其詳細は別に之を述べむ）

米國は大戰に參加するや、直ちに最高軍事機關たる國防委員のうちに、社會衞生委員を設け、酒精と娼婦と花柳病の三角同盟であるところの大敵と戰ふ方略を定め、精力を傾けて之に當つてゐる。乃ち先づ陸海軍省を督勵するに左の四條を以てした。

（一）性的の慾情を制するは健康を害するものにあらず、而して其は花柳病豫防の最善の方法たることを、陸海軍省にて公に承認すること。

（二）陸海軍省は其管轄内の凡ての場所を圍繞する地域にある娼婦を一切驅逐し、且つ適當なる體育機關を具備し、又酒類の販賣を監督し、及び其他有功なる方法を以て花柳病豫防のために努力すべきこと。

（三）陸海軍省は其醫務局を通じて、花柳病傳播を制止するに足る統一的方略を定めて之を實施すること。

（四）陸海軍省は米國社會衞生協會の方略を參考し、之と協力せらるべきこと。

二

陸海軍の兩省は固より滿腔の同意を表した。而して廓清

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

運動の中堅であるところの米國社會衛生協會と提携して廓清運動に努力する方面は三つある。

第一は陸海軍省内に陸軍教練營所委員を設け、一面には、教練營舍のうち及び其周圍の情態を絶へず陸軍卿に報道し以て軍人の不潔なる空氣に觸るゝを防ぐ便に供し、他面には營舍内に入つて軍人のために盡す各種の社會事業の中樞機關となし、努めて清潔にして有功なる娯樂を有するやうにせしむる。

第二は陸海軍省の醫務局が單に入營する軍人の病毒の有無を檢査するのみでなく、入營後花柳病に冒されたるものを診療する設備を完くすること、之が爲には軍醫に非らざる醫師の協力を要することは少々でない。且つ病毒に冒されたるのち除隊となれる軍人のために醫療的機關を具へてやるには殊に社會衛生協會の協力が必要である。

第三は陸海軍の營所のある附近の町村に於て花柳病の撲滅を期するためには、政府の衛生局及び地方の衛生會の協力を要するが、殊に一般の輿論を致導するにも、又撲滅の手段としてサルウアルサンの十分なる供給を得るにも、社會衛生協會の努力に俟つのである。

三

花柳病撲滅の手段として陸海軍の醫務局幹部の廣く米國民に示さるゝところの大要を摘記する。

一、性的誘惑を滅するに足る社會的方略

(イ)軍人の往來する地域の市町村に於ては全く娼婦を禁じ且つ嚴に酒類の販賣を制すべし。

(ロ)適當なる社會的環境を與へ且つ潔き娯樂機關を備へよ軍人の爲に青年會及び婦人矯風會等の援助により讀書音樂遊戯及び社交的機關を具へ、又婦人の巡警官を設く(現に紐育及び加州の都會にあり)。

二、軍人及び一般人民の性的疾病に關する教育

(イ)講演と小冊子の配布と花柳病に關する模型又は圖畫等の展覽會によりて其病毒の恐るべきを痛切に覺らしむ。

(ロ)陸海軍の幹部士官をして勉て廓清運動に參加せしむ。

(ハ)婦人團と協力して婦女子に性的倫理と衛生を敎ゆ。

三、病毒豫防方略

(イ)軍隊附屬診療所は晝夜開きて軍人患者の出入を自由にす、且つ診療所主任に品性の高尙なる人を選びて忠告善導の功果あるやうに勉めしむ。

(ロ)多數軍人の通過する都市には、軍人の爲に施藥及び施療所を特設せしむ。

(ハ)軍人の歸休日を少くし、休日には夜間外出を禁じ、早旦に外出せしむ。

四、醫療的設備

(イ)陸海軍病院には花柳病專門の醫師養成に努め、軍人患者は嚴重に監督して全治するまでは營所を出るを得ざらしむ。病毒研究の設備を完くし、精到なる患者の記錄を作り、又患者に花柳病に關する注意を配せるカードを與ふるなど徹底的に根絶する方法を用ゆ。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

四

海軍卿ダニエルスは、北部に於てはニューポート、南部に於てはキーウエスト及びニューオルリアンスの如き海軍鎮守府所在地の廓清に關して警告を與へられたが、フロリダ州の知事はキーウエストの遊廓に於て檢黴制度勵行の結果の薄きを見て、一九一七年六月二十七日斷乎として遊廓閉鎖の命令を發し、娼婦と酒精を全く驅逐する根本政策を施すやうになつた。淫風吹きすさぶキーウエストはカッツ知事の英斷で廓清せられた。淫蕩の風習の著名なるニューオルリアンスの紅燈區域は、やがて全滅せらるゝであらうとは、海軍卿より知事と市長に發せる警告によりて察せられる。ニューポートに於ても娼婦ハ調査をして其驅逐策に着手したとの報告に接した。その他海軍鎮守府地に於ても廓清の成功は遠くであるまい。

五

千九百十七年五月十八日の米國軍事法第十二條に依り、七月二十五日の命令を以て兵舍を距る五英里以內の地に於て、何人と雖も酒類の販賣を禁じ、同十三條に依り陸海軍の兵舍又は屯所を距る五英里以內の地に於て公娼若くは密娼の宅を設くるを禁じた。而して八月十日陸軍卿の訓示を以て娼宅を五英里以內に禁じたれども、其は大體を示すに過ぎず、軍人の容易に達し得る地域に於ては五英里以外と雖も嚴禁するは勿論にして、啻に娼宅のみならず、街上に往來する賣笑婦も旅館を本據とする娼婦も全く軍人と交涉なからしむべく驅逐するの趣旨であると說明してある。

新に設けられた教練營舍活動委員は、兵舍地帶に於て(一)公娼を嚴禁し、(二)密娼を驅逐し、(三)酒類其他淫風を鼓舞するものを制し、(四)賭博及び有害なる喫飲料を絕滅することにつとめ、更に、(五)兵舍地帶に於て社交的及び敎育的活動をなし、(六)劇場及び寄席のプログラムを取締りて軍人の趣味に意を用ゐ、(七)體力の競爭體育的の遊戲を獎勵し、(八)外來訪問客に接見する天幕を支配し、(九)淸潔にして健實なる通俗圖書の圖書館を設計して軍人の便宜に供す。

更に陸軍卿は各州知事に對し、國民の健康と兵力の增進のために廓清ハ事業に協力せんことを求められしに應じて、各州は州權を以て其實行に着手すべきを誓ひ、マサチユセッツ、ニュージャシー、ニューヨーク、ペンシルベニア、カリフオルニアの諸州を始め着々として痛切なり。

六

中央及び地方の政府が之が爲に未曾有の努力をなしてゐるのみでない、米國社會衞生協會を初め、諸州にある其支部は中心となりて非常なる活動を開始せるあり、シカゴに於ては新に「赤色同盟」と稱する醫家の團體は生れて花柳病ハ研究と豫防に努力し、シカゴの中心に模範的の花柳病診療所を設け且つシカゴに近き大湖教練所の兵士に對して其病に關し講演と展覽と文書の配布とを爲してゐる。同樣のものはセントルイスにもインデアナポリスにも顯はれた。一九一七年五月五

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

日華府に會せる米國各大學校の聯合大會に於ては國防の第一には軍人の體力及士氣の壯剛なるを要するがゆゑに、各兵舍若くは屯所地帶より全く娼妓を驅逐し、更に社交的體育的娛樂的の機關の具備を完成し、殊に花柳病豫防のために、概括的にして永久的なる教育的プログラムを適用せんことを奬むる旨を決議して公表した。

ミネソタ大學工科學生四百名は一致して、邦家のために何時にても起つて事に從ふべきを誓ひ、軍隊生活に伴ひ易き誘惑に勝ち、之に從ふ道義的社會的の破綻を警戒するため、大學生として、純潔なる生活を保ち且つ米國軍人の制服を以て眞男兒の象徵たり保障たらしむべく努力すべしとの誓約を天下に發表した。

米國社會衞生協會々頭で前ハーバード大學總長エリオット博士は此頃ニューヨークイブニングポスト紙上に戰時に於ける廓清運動の最大急務なることを警告し、只曰く「クロンウェルの鐵騎兵が進むところ無敵であつた如く、戰闘に於て最も剛健勇敢なるを期せんには、其體力の最も壯健なるを要す、米國の陸海軍人をして鐵騎兵にまさるの純潔を保たしめよ是實に世界戰爭に勝利者たるべき秘訣である」云々と。（つゞく）

日疋山本兩慰問使を送る

廓清會理事　小松武治

□歐米開戰以來、四星霜平和の克復何時來るべきや豫測し難き者あり、世界の億萬人類の不幸益々甚しからんとす、苟くも博愛人道の精神あるもの誰か身を挺して出征軍人を慰問し鼓舞するの事に出づるを願はざるものあらん顧れば明治卅七八年日露戰役の際、我基督教青年會同盟は遠く滿鮮の野に軍隊慰勞事業を開始し、數十の主事を派し十數箇所の慰勞部を設け二十箇月に亘る期間幾十萬の軍人に對し慰勞の實蹟を擧げ、畏くも兩陛下より御下賜金を頂き陸軍大臣より感狀を受けたることありたるは、世人の熟知する所なり。

□米國の如きは既に千餘の主事を用ひ七千萬圓の巨額を費して親しく戰地にある兵士に對し諸種の慰問事業を行ひ有力なる効果を奏しつゝ有りといふ歐洲の大戰亂は戰爭區域隔絶し、隨つて未だ我國の出兵を見ざるを以て、未だ直接慰問事業の計畫に着手するもの無之は其間諒とすべきものなきにあらずと雖も、我十數萬のキリスト教徒にありては到底滿足する能はざるものあり、即ち一は國家に對する奉公の精神に則り、一つは世界人類に對する人道の精神により、並に聯合軍慰問事業を開始するの運びに至れり。

□此事業の性質たる獨り少數のクリスト教徒の手に委ぬべきにあらず、宜しく一般國民の協力援助すべき者たるは云ふを須ひず、然らば兩兄の使命は吾帝國七千萬の爲さんと欲する所を爲すにあり、責任の且重大なるは素より明かなる所なり。

□今般慰問使として出發せらるゝに至りたる本會評議員日疋信亮氏、理事山本邦之助の二氏は靈肉共に健全にして、信仰亦頗る健實其經歷と人格とに於て好箇の使節たるや衆目の視る所なり、吾人は既に米國にある益富理事が更に日疋山本兩理事と相携へて歐洲の野に此壯擧に參加せらるゝに至りたるを慶賀し充分其責務を果し光榮ある成功を稱ふに至らんことを望みて止まず衷情の微意を添えて送別の辭を述ぶることゝ爾り。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

日本の國民性

廊術會評議員
文學博士　井上哲次郎

□個性と國民性

各個人に特性があるやうに、各國民にもやはり特性がある國民性は元より絶對的のものではない。絶對的といふのはどうしても變更する事の出來ない、一定不變のものといふ意味であるけれども、國民性はさういふ一定不變の特性が始めからあつて何處迄も貫いて行くと云ふものではない。尤も個人の特性に比ぶれば國民性は變更する事容易でない。個人の力で性即ち性格の方が比較的に變更し易いのである。個人の力で國民性を變更するなど、いふ事は思ひも寄らぬ事である。尤も個人でも非常な卓越したる勢力と識見とを有する場合には意外に多大の影響を及ぼし得る事もあり得るけれども、概して之を論ずれば國民性なるものは個人の特性より遙に偉大なるもので、却々變更し難いものである。各國民がそれぞれ特種の氣候風土若くは地形の關係を以て發達し、且つ特種の歷史をなし特種の風俗習慣を有して發達して來た結果、それぞれ特性を有する事になつて居る。それが即ち國民性である。

然らば我が日本の國民性といふものはどうであるか、之に就て內外の學者が色々に論じてゐる。併しそれ等の異說を此に列擧する遑はないが、ただ、昨年受取つた第十一版の百科辭典ブリタニカの日本の處に、日本の國民性が五つ列擧してある。それは外國人の觀察として注意すべき事柄であるから茲に論ずる事としやう。それは第一が質素性。第二が忍耐性で、第三が從順性。第四が愛他性。第五が細かき物に對する天才で、以上を日本の國民性として揭げてある。之は果して能く當つてゐるか如何と云ふに、どうも甚だ不完全な觀察の樣に思はれる。

□外人の觀たる國民性

第一質素性といふのは、如何にも英國人などから見たならば、日本人は生活の程度極めて低くして、衣食住ともに儉素に見え、質素が其の自然の性質であるかの樣に考へられたであらう。中には未だ封建時代の武士の風俗などを存して居つて、如何にも質素が其性質であるかの如く見えるであらう。殊に明治年間に於て、乃木大將の樣な人は餘程質素であつたあゝいふ人を代表的に考へれば全然間違とは云へないが、併し質素性を以て國民性と見るのは甚だ當を得て居らぬ樣に思ふ。何故なれば日本人は少し生活の餘裕が出來ると忽ち驕り始める。成金といふ樣な者の法外に驕るのを見ても分る。質素生活をしてゐるのは、大抵皆さうしなければ生存が出來な

いからである。多少餘裕が出來ればすぐ驕り始めるといふ傾向が多大である處を見れば、質素性を特性であるといふ譯には行かないのである。

第二の忍耐性といふのは、之は多分質素性など、聯想して考へた事であらう。併し忍耐性の缺乏に至つては日本民族寧ろ弱點で、忍耐性を獨逸民族の特長とするならばそれは適切である。獨逸民族は忍耐性に富み初志を飽迄貫徹する處がある根氣強く如何なる忍耐をもする。惡く云へば執念深いのが獨逸民族の特性である。日本民族はそれと反對に物に飽き易い。移り氣が多くして持續自重の精神に乏しい、之は日本民族の短所であつて今後大に匡正すべき點であらうと思ふ。忍耐性を以て日本民族の特性とするなどは最も甚しい間違である。

第三の從順性は如何といふに、これは成る程過去は百年ばかり封建制度の下に於て、大多數の人民が壓制に服從する樣に訓練された結果、左樣に認む可き節があるであらう。殊に自主獨立の精神を以て活躍して來た歐洲人から見れば從順性が日本の國民性の一つである樣に見られるであらう。強ちこれは間違とは云へない。それに千年以上儒教が行はれて居つて從順の風俗を馴致した結果もあらう。且つ佛教の精神から云つても從順といふ事は必然に生じて來ることである。けれども、日本人を支那人などに比べて見ると又其所に餘程相違がある。嘗て日本近海を通つて居つた獨逸船に乘つた處が、澤山に支那人や南洋人を使つて居る、そして日本人は殆んど使つてゐない。たつた一人十六七のボーイが日本人であつたのみである。それで獨逸の船員に何故日本人を使つてゐないかと問ふた處が、船員は「どうも日本人は使ひ惡い、すぐ反抗して喧嘩をする。支那人なぞは非常に從順で給金さへやればどんな仕事でも温順しくやる、處が日本人は激怒し易く兎角反抗するからどうも彼等は使役するに適しない」と答へたが、成程日本人は外國人の權勢の下に屈服して隷屬仕事でもするといふ譯には行かない。斯樣な處を見ると、日本人は支那人に比しと從順でない、其の上明治以來次第に自主獨立の精神なども鼓吹されて來た。且つ國運も勃興して來た爲めに概して氣分が高まつて東洋の盟主などいふ考へを起して來てゐるから、從順性もさう國民性といふ程でない樣に思はれる、がまづ此の英國人の觀察は大體間違つてゐないと云つてもよい。

第四の愛他性といふ事はどうであるか、之はやはり永い間家族制度で來たのであるから、日本に於ては家族道德が行はれて居つた。其家族道德は弊害もあつたが又善い方面もあつて、一家族内に於て互に犧牲的にやつて來てゐる。即ち個人々々の利己的道義といふよりは、協同的に相助けてやつて行く樣な氣分が漂つて居つたのである。さう云ふ點を見て愛他性が國民性のやうに思はれたのであらう英國人の觀察としては之も尤もな事である。然るに明治以來社會の狀況は大に變化して家族道德は大分打破られて來て、個人々々が頗る利己的となり。學者によつては利己主義を主張し、其利己的傾向を一層發達せしめたいふ樣な事もある。故に之を今日及び今後の國民性と稱し得らるゝや否や甚だ疑はれるのである。

第五の小さきものに對する天才、といふのはどういふ事かといふと、日本人はどうも小器用で小さな物に於て天才を發揮してゐる、譬へば根つけ、刀の鍔、櫛殊に象牙細工、或は印籠などの細工、又は佛像などの彫刻、といふ樣な物に對する小器用は驚く可きものがある、そこで即ち小さき物に對する天才と數へたのである。如何にも、大天才といふのでなくして、小さな局部的の天才といふ事を言ひ表はしてゐるのである。天才と稱せらるゝのは結構であるが、どうか大天才と稱せらるゝ樣になくてはならぬと思ふ。但し藝術上の天才として見らるゝ樣な點は確にあるから、尚今後の大なる努力を要する。

□第一　潔白性

國民性はいふ迄もなく善い方面もあれば不可い方面もあるだから不可い方面は撲滅して善い方面を發達せしむる樣にせねばならぬ、英國人の觀察は之位に止めて、然らば一體日本人は如何なる國民性を有するかといふに、之は容易い樣で實は甚だ容易でない。けれども國民性の研究は國民道德研究上に重大な事であるから、其主要なるもの丈を列擧して簡單に之を論ずるであらう。

第一潔白性といふものが確に日本古來の國民性である樣に思はれる、古代の風俗に就て考へて見ると、凡て穢らはしき

ものを忌み嫌つたのである、人が死ぬと別に喪屋といふものを設け、又は産をする場合には産屋を設けるやうな事は、何れも潔白性を意味してゐる。此風は今でも海岸の或村に存して居る處があつて、其處には數十軒の村の共同の産屋が其ん中にある、其村の婦人が産をする時には皆其産屋に行くのである。産屋は床はなくして海岸の砂を敷き、其上で産をする樣になつてゐる、そして産が濟んでも直ぐ家には歸らぬ。必ず海水を浴びて身を潔めて内へ行く事になつてゐる。又産屋と同じく忌み屋といふものがある、我等の見たのは忌屋は産屋と同じ家に設けてあつたが、忌屋といふのは一ケ月一度婦人の身に不淨のある時に這入る場所なので、其間は共同の忌屋に於て煮焚きをして潔まるのを待つのである。斯樣の例に見るも日本人は餘程潔癖を示してゐる、今でも家の入口とか敷居の側に鹽の固まりを横に並べるのを見る、あれは即ち淸めの意味で、元來海水で何でも潔めたものであるから、それで鹽を入口に置くといふ事は鹽で洗ふ意味をあゝいふ形に表はしたもので、今は全く象徴的になつて仕舞つたのであるやる者は意味を知らないが、元の意味はあれで身を潔めた餘習である。之を支那人や其他亞細亞大陸の民族と比べると非常な差のあるのを知るであらう。支那人などは此點に於ては正反對で甚だしく不潔である。純粹の支那風の宿屋には便所がないといふ事である。印度も其通りである。斯かることは日本人の堪え得ざる處で、潔白性は種々な處に表はれ、精神上にも表はれてゐる、譬へば源平二氏起つて以來切腹をするといふ事が始まつて、今日と雖も全くなくなつてゐないが切腹をするといふ其始めの理由は色々あつたにしても、幾何もなく此潔白性と關係を生じて來たのである。汚き心を懷いて居らぬ腹黑い考を持たぬとて腹の中を示すのである。遡つて日本の古代を見れば『赤き淸き直き正しき』といふ四つの心が貴ばれてある。つまり之は潔白な心である。少しも腹黑い樣なひねくれた邪まな心がない。淸淨潔白の心、それが一般道德心として貴ばれたのであつて、さういふ精神は今日迄變りはないと思ふ。日本民族の貴い處は實に眞直い潔白な精神である。生活上から見た潔癖があつて、精神の上にも此影響があるのである。斯う云ふ潔白性といふ樣な、歷史を通じてある處いものはどうか、教育上益々醇化し養成して行く樣にしたい。

元來日本人は支那大陸から道德上よく見られたのである。前漢の時代に支那人が『東方に君子國あり』と云つたのはどうも日本を指して云つたものらしい。其他支那の日本に關する報道には日本人の、道德をよく見て書いてある。それはやはり日本の方が精神上潔白で腹黑い處がなかつたので、左樣に見られたのであらう。併し世の中は複雜になり、文明が進めば進むに從つて、善いものも益々善くなるけれども、惡いものも出來て來るから、教育の側で何處迄もよい方は益々進めて行く事に努力せなければならぬ。

□第二　淡白性

第二には淡白性といふ事を國民性の内に加ふ可きである日本人は昔も今も淡白を好むといふ、點に於ては變りはない。

先づ衣食住凡ての點に於て淡白性が勝つてゐる。日本の家の構造の如きは凝つたものであるが、概して淡白なものである白木作りで障子襖位で出來てゐる、極めて淡白なものである支那の家屋などは餘程念の入つたもので、細かいくどい細工などを施し、凡ての構造の工合が淡白でなく複雜である。西洋の建築はいふ迄もない。食物の方も非常な違ひで、支那料理と西洋料理も共に濃厚である。日本人は之に反して比較的淡白な食物が好きである。それから服裝の如きも同じく非常な差違があり、日本の服裝にも隨分込み入つた物もあるけれ共、通常極めて淡白な物を好む。白い浴衣で兵兒帶を締めるなどは餘程淡白である。支那服にせよ西洋服にせよ遙にくどい。衣食住凡て此通りである。以上は外形上の物質的方面の事であるが、精神上に於ても日本人は淡白性が勝つて居る。込み入つたくどい樣な事は嫌ひである。あつさりした樣なことが好きである。其處に弊害も色々生ずる。けれども又中に善い側がある。されば教育上弊害の側を匡正して良い側を發達させなければならぬ、例へば獨逸人などは餘程執念深い處があるから、一度敵となると却々面倒である。殊に陰謀などいふ事をやつて意外な手段で敵を惱まさうといふ樣な事をする。肺結核菌其他の病菌を注射したり糾脅創に附着したり。種々の方法によつて傳播の手段をとる、といふ樣な甚だ不淡白な、意地の惡い仕方を取る。日本人はさういふ點に於て淡白である。激怒する事もあるが後は忘れた樣に淡白である。

□第三　感激性

それから、日本人は餘程感激し易い方面がある。善にもあれ惡にもあれ、外來の刺激に對して感激する事尋常でない。それでよい事に感ずれば非常に心服して來る。或は謝恩の念を生じて感泣するに至る、さういふよい側がある代り又惡い事に對して非常に憤慨する激怒するといふ方面がある。そして其弊害を云へば、餘り感激性が勝ち過ぎる爲め過ちがある。少し氣に入つた人だといふと神樣の樣に尊敬し、又實際に神樣の名を呈して居つても、當人に何か氣に入らぬ事があると打つて變つた事がある。曾て上村中將が日本海に於て露國艦隊を逐ふて行つた時に、濃霧の爲めに敵艦の所在を失した事がある、之は全く天候の爲めに上村艦隊が追擊する事が出來なかつたので、上村中將の失策ではない、處が東京に於ては上村邸に石を投げた者がある。さういふ樣によく前後を考へないで、感情に驅られて罪もなき人に石を投げるといふ樣な事は非常に不可ない事である。併し乍ら元來正直な處があるからして、之をよく導けば隨分よくなす事も出來る、感激性といふものは大に助けもなすものである。感激の勝つてゐる點から云へば、日本人は佛蘭西人に似てゐる、佛蘭西人は非常に感激し易く又日本人と同樣に飽つぽい、さういふ點に於ては佛蘭西人と共通性を有つてゐる樣に思はれる。

□第四　依賴性

第四にはどうも依賴性といふ事が日本人の短所として數ふ可き國民性の樣に思はれる。之は永い間の家族制度の結果でもあり、殊に又封建制度の然らしめたもの丶樣に思はれる。

如何にも日本人は人に依頼する精神が多大である。自主獨立の精神を以て己れの運命を開拓して行かうといふ精神が乏しくして、兎角人によりすがつて人の力で以て何かにありつかうといふ樣な考が餘程多い。人の力が得られぬと沮喪落膽し厭世悲觀に陷るといふ樣な事もある。青年男女には殊に此傾向が多い、國家として、政府が人民の爲めに圖るといふ事は家族として家長が一家族の爲めに圖るのと同樣であるから、家族制度に育くまれ封建制度に馴らされた國民が、國家にあつても大多數は、他動的の形の中に生存してゐるが爲めに、自然にそれが風をなして國民性となる處迄進んで來てゐるのは事實であると思ふ。斯樣に依賴性が大にあるのは、生存競爭が次第に激烈となる今日好ましからぬ事で、之等の宿弊を匡正するには、自主獨立の精神を鼓吹するに如くはない。是れ善い意味の個人主義の唱道せらるゝ所以で、如斯依賴心を打破し去つて各個人に大膽なる獨立精神を養成せねばならぬ

□第五 自然性

第五に日本人は元來餘程自然性といふ樣な國民性を有つてゐる、自然性といふのは、極く自然的に生活し、自然を愛し自然と一致して行く事である。自然性と矛盾したやうなひねくれた事は好まない、五六年前に舶來の自然主義が小說家によつて大分唱道されたが、あれは殆んど本能主義と同じ樣に人間自然の慾望を滿足せしむる上に於て唱道された。從つて大に世の非難を受けた譯であるが、元來自然主義は日本にあるのであるあるのみならず、日本人の特性として一般に自然主義を有してゐるのである。神道なる日本人の精神的產物も自然性が勝つてゐる。日本人の淡白な生活だの精神狀態だのといふのは又自然と相俟つてゐるのである。日本人間にあつては餘程自然を愛し自然と一致する態度が昔からあつた。風土記を見ても天地自然の山水のよい處、殊に花の咲く處などに人民が多く集まつて、自然の美を賞讃し、自然と共にする氣風を有して居つたのである。今日に於ても同じ事で、櫻の花の時節にあれ程人民が喜び、あれ程盛んに花見に行くのは嘗て他國にない事である。又草花を愛し草花に同情を寄せるといふ事が非常に多大で、日本の歌で草花を詠じたものは非常に多い、彼れ程文學に自然を取入れて來るものは又他になからう、且つ日本人は虫の聲を愛する、これも支那には多少あるが日本程の事はない。西洋には丸で虫の聲を愛するなぞといふ事はない。德川時代の加茂眞淵や本居宣長の如きは多少自然主義的で、儒敎よりも道敎に近かつたのである。道敎はよいものとは思はれぬが、併し國學者は寧ろ之と結付ついたものである是等の事實によつて自然主義と國民性との關係を推するに足ると思ふ。敎育などもルーソーが主張した樣な自然主義でやる事は意味ある事である。自然と矛盾した樣な敎育法は不可い、自然の性を發達させる樣なやり方の敎育法は大に取るべきである。若しも之を惡い方に誘へば小說家の自然主義のやうにもなるけれども、又善い方に導けば、確にデスイントレステッドな單純な性情を養ふことが出來ると思ふ。右の外列擧すべき國民性は種々あるが、茲には其要點を概說するに止めて置く。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

大戰の産める二つの潮流

成女高等女學校長
廓清會理事　宮田脩

□戰爭を地上より去る爲に

大正六年といふ年は、可なり内外共に種々な出來事を見た年であつたと思ふ。が過去は暫く問はずして、此七年度は如何なる年になるのか、年の始めの巖頭に立つて、來る可き一ケ年の將來を考へて見たと思ふ。就中婦人界の將來を考へて一番最初に胸に浮んで來る事は、歐羅巴の大戰爭がどうなるかといふ事である。

此戰爭に就ては最初から自分の考は二つの矛盾したものがあつた。併し結局は一つになるのだが、少くともそこに達する迄としては二つの考を有つて居つた。其一は戰爭が早く止む樣にして欲しいといふ考と、長く續けばいゝといふ相容れざる考が心中に往來して居り、今日も左樣に思ふてゐる。

早く止むで欲しいと思ふのは、戰爭其物が悲慘な野蠻的な所行であるからで、我々人道の鼓吹に努めたいと思ふ者は何人も異議のない處と思ふ。獨逸の人などは動もすれば神の使命なりと云つて居るが、之は誤つた見方でなければコジつけに外ならぬ。靜に胸に手を當てゝ考へるなら、何人か戰爭の野蠻ならざる事を斷言し得るものがあるか。人生を通じて其大と小とを問はず如斯事が人間の世界に行はれるといふ事は遺憾極まりない事で、我々は一日も早く此戰爭の終熄せん事を望むのである。

乍併他面から云へば、少くとも此殘酷悲慘を敢てして人と人とが爭ひ、國と國とが爭ふ必要が殘つてゐる世界として考へれば、理想としては平和、相愛主義であつても、事實は茲に達するのは程遠いと見ねばならぬ。果して然らば極端から極端に行くので、寧ろ此殘酷悲慘の活劇を根絶やしにする迄やらせる、悉く燒盡すれば取除かれる譯だから、人間世界から取去られる意味で戰爭をやらせる。全然取去る事は出來なくとも或程度に平和相愛の時代を來したい。故に今日止むを得ない戰爭であるならば、寧ろ根の續く限り戰はしめて、其後に來る平和の福音を聞く樣にしたいと思ふ。

□戰爭は何時止むか

が以上いふ處を以ても明なる如く畢竟は平和である。我々は一日も早く其理想に達する樣にしたい。殊に最近に至つて戰爭が生み出す世界の狀態は、或は一國を轉覆せしめ、若くば其國民に不安の念を與へ、個人々々の間に好ましからぬ競

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

爭を起さしむる。何處を見ても決して人間の幸福を加へるものでなくて、凡てを擧げて不幸不利な現象を齎らしつゝある事に就ても、もうそろ〳〵戰鬪に從事してゐる人は勿論、世界を擧げて自覺しさうなものだと考へる。眞に神の厚い聖旨に立歸つて、人間の道の大切な事に思ひ至るべき筈だと思ふ。其戰爭も既に茲に足かけ五年を經過し、此れを百年戰爭三十年戰爭乃至七界戰爭に比しては、未だ以て長しとは云へない。乍併其戰を交へらるゝ範圍、更にも一つ云へば其戰爭が釀したる禍の量から云へば、時間は短くとも之を延數にすれば、百年戰爭よりも量の多い戰爭とも云へやう。從つてもうそろ〳〵平定してもいゝ時期だと思ふ。種々なる事情から推測すれば、どうも大正七年は此戰爭の終る年の樣に直覺的に思はれる。假りに之れが終熄するものとして考へて見ると歐羅巴の婦人界はどうなつて來るであらうか。

□婦人の地位の向上

婦人の立場から云へば、前に二つの方面がある樣に考へられる。其一つは善い方面があると同時に惡い方面が裏側にある。よい方面といふのを一言で云へば、婦人が今迄内に有つて居つて而も氣附かなかつた腦力を始めて見出し得たといふ事である。之を詳かに云へば、古來女は同じ人間でも男子と平等の扱ひを受けぬ、劣等なものとされ、甚しきに至れば禽獸よりも一層劣つたもの〻樣に考へられたのは、日本及び支那のみの事でなく、古への歐羅巴にも隨分あつた。婦人自身もそれを止むを得ざる運命と思つた。それが近世に至つて段々人智の開發に伴つて、同等の權利を認められん事を要求する者が多くなつた。人間としての取扱を受けなければならぬといふ、所謂フエミニズムの運動は、歐羅巴を先にして我國にも段々這入つて來たのである。

乍併權利の要求はあるが、權利の要求の根底には義務が之に伴はねばならぬ。然るに從來の婦人は、男子と同じ義務を果すのは不可能なりと男子も認め婦人自身も考へてゐた。從つて權利要求の理由の多くは女は第二の國民を作り之を養成する。此任務は男子が社會に立つて、働くに等しい重大なる任務である。故に男子と同樣の權利を要求するといふにあつた。即ち婦人が男子と同じ義務を負ふといふ事は考へられない、尚之れ以上に論ずる事は斷念せざるを得ない狀態であつた。處が今度の戰爭は、必要上婦人が男子に代るべき種々なる仕事にたづさはる事となつた。彼等をして働かしめなければならぬ狀態になつた。而して婦人自身もよくしない、男子も最初は一種の驚異として見た位の事業を、遺憾なくやつてのけた。即ち永い間未開墾の狀態にあつた腦力を今回の機會に於て自ら發見するといふ有樣になつた。茲に於て婦人の價値といふものに餘程の相違を來して、婦人も亦男子と等しく社會的の仕事をしても不可能ではないといふ事になり、今迄婦人が共同して働く必要がなかつたので、能力が秘められて居つたといふ事を發見した。今度は自分の權利を主張するにしても、お求めであるなら自分達も仕事をしませうといふ事も出來る狀態になつた。さてさうなると從來と違つて社會もいつ迄も其の樣に押へて置く事が出來なくなつた、從つて

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

婦人の位置が高まつて行くのは明かである。現に英國の如きは多年の宿題であつた婦人參政權問題が下院を通過するに至つたのは當然で、此勢に乘じて來た婦人は必ずや盛んなる仕事を仕出すであらう。之は婦人の爲めのみでなく、人類の進歩の爲めに喜ばねばならぬ。

□風紀問題と大正七年の覺悟

然るに其反面に於て同時に甚だ危險なものが横つてゐるのである。それは何かといふと、戰爭の影響によつて風俗が非常に廢頽して來てゐるといふ事で、皆人々の知る處である。假令ば倫敦市中を歩いて見るのに本來が保守的な、紳士淑女的な矢喧しい英國が、昔は之等の町の風俗には外國人が衿を正すといふ事であつたのに、今日は各所のバーに婦人の泥醉者を見るといふ事である、泥醉者と迄到らなくとも酒氣紛々たるものが多く。甚しきは夜陰男が歩いてゐると危險で、後から自働車がブーとやつて來て之を拉し去るといふ程だといふ。風紀の廢頽は、比較的に健實な道徳意識の英國にして然りであるから、佛蘭西にしても伊太利にしても、又は獨逸にしても勿論同樣若くば以上の有樣であらうと思ふ。其處へ持つて行つて婦人が自己の腦力を發見すると共に、之を恃むといふ事になると、よい意味の方は誠によいが、惡い方からは甚だ危險で、丁度道樂は男の働きだといふに同じく、力あるものは少しは勝手な事をしてもよいといふ氣分が、少しは起るものもあらう。かた〳〵戰爭の齎らした結果の一面には左樣な好ましからぬ、喜ぶべからざる現象を見に至かも知れぬ。

此二つの事は世界が擧つて注意を拂ふべき事件であると思ふ。殊に我廓清會の會員は勿論、斯樣な事業に同情を持つてゐる人々は、最も愼重に此點を考へて置かなくてはならぬ。之れ獨り歐米に止まらず、延いて我國にも波動を見る筈である。幸に海を隔てゝ遠くにある國であるから、歐羅巴に見るが如き頽廢したものを目前に見る事はなからうが、同時に又彼等婦人が發見した腦力を我國の婦人が發見したといふ事もない。之は喜ぶべきか悲しむべきか妄りに斷ずる事は出來ぬが、自ら戰後に於ける歐羅巴諸國の事情を考へる時は、我國に於ても豫め其波動に對する用意をしなければならぬ事と思ふ。で若し自分の考へるが如き事が順序立つて行くとすれば、大正七年の仕事としては、却て前年に增して努力を要する年と見なければならぬと思ふ。

□法學博士山脇玄氏曰く

英國上院は婦人に選擧權を賦與し米國でも亦同案が下院を通過した。英國では前世紀來の問題で千八百七十五年ジヨン・スチアルト・ミルが議員に選ばれたとき婦人參政權問題に同情し「婦人が茲に百人集つて運動を開始したら屹度其目的を達し得るであらう」と言はれた此言を聞き傳へて忽ち一萬人と言ふ多數の婦人が雲集した、其處で氏は此の一萬人を問題として力説したが時期尚早しとの故にて捷せられなかつた。夫れからジヨン・ブライトも同じく議院法の改正を企て爾來幾度婦人の參政權運動が持上つたが遂に成らなかつた併し此間に段々參政權の氣運が進みつゝあつたので最近に至り婦人連は到底手緩い手段では駄目だと言ふ事に氣が附いて議會に向け旗鼓堂々と押し通つたので遂に今回の如く初志の遂行する事が出來た譯だ、今回の戰爭で婦人が農業に携はり彈藥、兵器製造に男子に劣らぬ働きを示す從婦人が戰術の後方任務に當ると言ふ譯で愈々氣運到來上院の容るゝ所となつたのであるが戰爭が濟だ後は必ず獨逸を始め各聯合國でも同樣の權利を與へる事になるであらう。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

歐洲大戰に就て我國婦人の反省を促す（一）

貴族院議員
法學博士　山脇　玄

（一）緒論

日淸、日露の兩戰爭以來、我が國は世界一等國の仲間入りをしたと、大きな顔をしてゐるが、一度歐洲戰亂が突發してからは、深く考へて見ると、我が國は何れの方面も獨立しない、考ふれば考ふる程、憂ふべきことが多く、又片端から改善して行かねばならぬことばかりで、何から手を附けてよいかに惑ふ位である。政治家、實業家、敎育家にしても、此の貧乏な我が國のやり方としては、實に不誠實なこと、無駄なこと、重複なことが多い。一二例を擧げて見れば、現に經濟調査會とか、敎育調査會とか、調査會の數が多いけれど、其成績は毫も擧がらず、理化學研究所にしても、民間から多大なる金を出し、その上皇室からも補助を受けて、この業を起すと云ふのであるが、未だ定つた金も集らず、敷地も決定しない樣である。之が建築も出來上り、技師を招いて、實際の仕事を初めるまでは、却々の月日を要する。此の樣な廻り遠い事をせずして、農商務省に設けられたる工業試驗所に、五六十萬の金をかければ、立派な仕事が早く出來やうと思つてゐるのに、却つて此の方には手を付け樣としない。又中央幼年學校も、普通の中學校のある以上不用なやうに思はれる。然し其の筋の人は、中學校では、兵式體操が不充分であるからと云ふ、それなら中學校の體操を改善して、兵式に叶ふやうにしたら、今日の大勢に鑑み、國民皆兵の事實を擧げるにも、一層適當であらうと思はれる。これも矢張り重複なことをしてゐる。この樣に擧げ來れば、大となく少となく、我國民は不誠實で無駄なことを常にしてゐるのである。又今日の樣に日用の食糧品に至るまで、物價が騰貴して生活に迫はれてゐるにも不拘、當局は正貨の膨脹に眩惑されて時機を後れ、急所のはづれたる物價調節を行つて見たり、實業家にして見ても、契約期日を破ることを平氣で居り、輸出品等も、粗製品を濫造して信用を落すとか、外國に於ての商業にしても、外國人でなく、內國人同士迄騙れと云ふ狀態であるとか、甚しきは敎育家の中に、不正な行爲のあるを耳にするに至つては驚くの外はない。

何故に各方面が、かく迄不眞面目であるかと考へて見ると結局家庭生活の不健全に歸せざるを得ぬ。凡そ家庭は子女敎養の中心、人間勤勞の慰安場であるから、最も純潔平和でなければならない。然るに我が國上流社會の家庭は極めて不健全である。之は歸する處結婚の如何、一夫一婦制の勵行如何にあるのであつて、其名正しくして、其實擧がらざるは、

之全く癈頽しつゝある家族制度の餘弊ならんか、詰り家庭が純潔、平和であれば、さう云ふ風な家庭に育つた子女は、純良なる國民となるのである。さすれば社會凡ての方面が規律正しくなり、眞面目になり、從つて經濟的無駄を省くやうになると思ふ。獨逸より歸つた人の話に、獨逸が今日まで四面敵を受け乍ら持久戰に耐へ得るのは、國民が勤勉で貯蓄の心懸けがよく普及し公債の募集に應じられることが一大原因で、取り分け中流社會が健質であつて、貯金があつた賜である。此の中流社會に、金があれば國家にとつて大層な幸である。獨逸が數ケ國を相手として戰ひ、未だ寸地をも犯されざるは全く此の爲であると云つたが、何處でも中流社會は餘り金があるものではないけれ共これは其家庭の婦人の力に因ることである。其婦人達が家長の持つて來る金を儉約して使ふと同時に、自分も内職なり何かの働をする。中には商をするのもあつて、貯金を作つて置くのである。して見れば我國の婦人も此際覺悟を決めねばならぬと思ふ。

元來我國民は男女共に、秩序心と經濟心とが大に欠けてゐる。從つて無駄な正味のない生活をしてゐる、故に一般の生活の仕方を改めずして、物質に時間に勞力に於て經濟的に運用する事を大に工夫せねばならぬ。大袈裟に社會生活の大部分を改善する事は容易ではないから先づ各自の家庭の經濟的方面を改めることは實行し易くして効力の多いものである。

物質を無駄に費さぬと同時に、日常生活を規律正しく、時間勞力を無駄に費さぬ樣にする事は、各自の心身の健全を圖る爲にも、事業の進歩を計る爲にも、社會生活の健質を圖る爲にも凡て有効である。兎角日本人はだらしなく生活する時が多いが、凡て時間には價値を持たせることが必要である。何を爲すともなく暮す時間は假令一分時でも廢したい、國家の分子を爲す各自の家庭を引きしめて正味ある生活をして、秩序心と經濟心とを養成することが、急務中の急務である。そこでかゝる立場から戰後に於ける、我國の女子の覺悟と、準備と云ふ問題を考へて見たいと思ふ。

(二) 國民の體力問題

今日の統計の示す處によると、十五歳以上四十五歳までの女子の死亡率が、増加したる事實は明である。其の主因は結核病であると云ふ。特に結核病の爲に年々女工を亡ふ數は、莫大なものである。即ち全國に、二十萬人位は毎年出稼して、織維工業に從事するのであるが、其疾病による死亡率は、三千六百人の多きに達し、結核病が四分の一を占め、一般の死亡率の三倍以上に當ると云ふ。我國の織維工業の爲に憂ふべき現象であると云はねばならぬ。これは未だ身體力が强健・發育してゐないからである。かゝる纖弱なる體力を以て若し戰後の諸外國と紛擾を生じ、止むなく干戈に訴へて是非曲直を正さねばならぬ秋に臨み、女子も國家の爲に働かねばならぬと云ふ場合にはどうであらうか、何れ程素養があるにしても身體が虚弱であつては、男子に代つて働くと云ふことは容易ならぬ困難である。故に今より女子の體育について常に注意を拂はねばならぬ。今日の女學校の體操は、少くも女子高等師範學校に於て爲す位の程度に改め、他の學科と同等に認め、

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

同等に取扱ふことが必要である。果然體育問題が今度の女敎員大會の議に上りしは、大に我が意を強くした。女子の體育が充分に出來てゐなければ、丈夫な子女を擧げる事が可能ないのであるから、家庭の婦人も時間を利用して、成可く自己の用務は自分で辨じ、買ひ物に出掛けるもよい、總じて外出を一日の日課として、外氣と日光に當るを無上の快樂とし、日曜祭日等には子女を伴ふて郊外散策を試むる等、身體を強健にすることを忘れてはならぬ。

（三） 一旦緩急時の覺悟と準備

女子も國家の危急に際していざと云ふ場合には、如何になすべきか、自分は何れの方面に働いて、國家の爲に何を盡すべきであるか、傷病兵の看護、軍人家族及び其他の者の救護、且つは、農業、工業、交通機關等、何れの事業に從事すべきかを、豫め平素から定め置き、その素養を作ることを心懸ける事が大切である。女子も國家の一半ではないか、古來男子は外に出て生計の資を求め、婦人は內に在つて家を治めるは、各々其天性の然らしむる所であつて、又當時の社會組織に能く適合した公業である。然し歐洲に於て勞働問題と共に婦人問題の聲が漸く盛になるに從ひ、婦人も又外に出て各種の職務に從事するに至るの傾向は漸時其度を進め、開戰前と雖、婦人を重用しつゝありし職業も亦少くなかつた、然れども開戰後兵員として、多數男子の召集を必要とするに至るや、益々婦人の活動の範圍を廣大にし、獨り從來婦人の職業として認められたる個所に於ける人員を增加せしに止まらず、纖弱なる婦人の到底爲し得べからずと認められたる職業までも、漸次婦人の活動範圍となり、男子に劣らざる劇務勞働に堪へ、男子の缺乏にも不拘、國內諸機關の運轉、及び生產力をして開戰前に劣る所なからしめたのみでなく、更に增大したるは交戰各國の等しく認める所である。

尙ほ茲に婦人服役義務と云ふ問題がある、これは現時獨逸に於て、屢々唱道せらるゝ所であつて、男子の兵役と等しく、義務的に所要の敎育を施さんとするのである。之は平時に於ける婦人修養の不足は、戰時家政上及び救恤事業、其他各種の職務に付いて、頗る不利なる狀況を現出せしむるからである、而して此の說は獨逸女子の經濟學校設立者たる、コルッ、フランコ夫人の初めて唱道せし所であつて、元より多數の反對者がないでもないが、而も特に婦人界に屢々論議硏究せらるゝに至つた事は注目すべき傾向で、今茲に概要を述ぶれば、

女子は十四歲より二十歲の間に於て、國家の施設の下に一年間實用的敎育を施すを要す。而して前半年間に於て家政上の仕事を實際的に敎育し、其程度は最も單純なる家庭にも適用し得る樣に之を定む。此の敎育を終りたる後は娛姆、看護婦、庭丁、裁縫、編物、其他の各種の仕事に區分し、其各々一つを修めせしめること、宛然男子の兵役に於ける、步、騎、砲、工、輜重兵の編制に於けると異る所がない。此際敎育を受くべき女子の一部は、一大救恤機關に收容して、敎育を施すを一般とす。之が爲には現存せる病院、孤兒院其他の設備を利用して一ケ年一定の經費を補助し、一定數の女子の敎育を擔當せしむ。其他の女子は男子の兵役の樣なものを設備し

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

て之を收容し、指導監理に任ずる者は又婦人を以て之に當て、宛然兵營に於ける將校兵士の關係に等しからしむ。而して戰爭に際しては、各々其修得せし事業に廣く活動せしめんが爲に、軍隊に於ける動員計畫と等しく、之等婦人の使用に關する計畫を確定し置くのである。かくの如き女子教育は、戰時頗る大なる利益を齎らすべきは明にして、獨り戰時のみに止まらず、平時も亦少なからざる利益を齎すのである。

左に其主要なる利を列擧せんに

(一)身體の强壯及精勤の慣習を養成する。十四歳の女子に對して、此の種の教育は、過重なりとする論者あるも、現時各工場各救恤に於ける之等女子の活動の狀態を實見せば、思ひ半に過ぐるものあらん。

(二)女子教育に於て、智識注入を主とすべき事を唱道せられ、實用的の能力を尊重するの念を涵養する。

(三)絶對的隷屬服從の義務心確實等の兩性格を進行す。

(四)各階級者と生活を共にする結果、廣く智識を求むることを得主從僕婢に對する際に於ては、頗る好影響を與ふ。

米國では、戰亂勃發後、クリスチース、フレデリック夫人は、交戰國の婦人が如何なる方面に活動しつゝあるかを實地に就て視察し、歸米後參謀本部に付て、米國は何時戰ひにかゝるであらうかと尋ねた所、多分三年位の後と云ふ答を得た。そこで此の婦人は、さすればうか／＼して居る譯には行かぬと云つて、全國に檄を飛ばし、各婦人會等に交捗して、いざと云ふ場合に、看護婦志願は何人、軍器、軍需品製造志願は何人と云ふ風に、其人員をすつかり調べたと云ふことである。

又宣戰をウイルソン大統領によつて布告せられた時、婦人同盟會中有名なる、ナショナル、アメリカン、ウーマン、サフレイジ、アッソセイションの如きは、會長キャット女史が直に各支部長の召集を行つて、三週間に諸種の協議をしたのである。此の決議事項には、(一)赤十字社の事業を擴張すること、(二)愛國心の喚起を圖ること、(三)食料の儉約及生產に努力すること等があつて後、此の同盟に加はつた上流下流を通じた二百萬の婦人は、男子も眞似の出來ぬ樣な努力をしてゐるとのことである。それ所でなく、露都來電に據ると、サチカレハ女史の組織されたる、第一婦人決死隊は、去る七月六日を以て、戰地に向ひ、全く男子も及ばぬ勇敢なる働をしてゐると云ふ。

さすれば、他の交戰國の婦人の實例に鑑み、我が國婦人は平素から心懸け、或は其志す方面の書籍を讀むとか、時には、女工等實地見聞を爲すとかして、素養を作つて置けば、いざと云ふ場合に、僅かの練習さへすれば立派な働を爲すことが可能るのである。現に英國等では軍器、軍需品、食料の製造機械の運轉等は、僅かの月日の練習を終れば、立派に働けると云ふことである。今日は精巧なる機械が出來てゐるのであるから、其智識を備へて實地の練習さへすれば、女子で結構間に合ふのである。豫め其目的を定め、不斷の修養を怠らなければ、女子の手を以て好成績を舉げ得る事が陸軍當局の實見談に據るも明である。殊に我が國の如き農業國は、農業を女子に委かせて置けば充分である。只身體强健にして、危急の場合に立派に其務を爲し得る樣心懸けねばならぬ。(つゞく)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

自由廢業と行政訴願（三）

辯護士 布施辰治

吾人は、營業とは何んぞや、稼業とは何んぞやと云ふことを、其の出典と、字義と、用例との三方面より研究して見たのであるが、あまりに詳細なる學問的所見の發表は、讀者の煩とする所でもあらうし、また學術雜誌にあらざる本誌の爲めにもあるまじと考ふるが故に爰には其の大半を略して、訴願法に謂ゆる營業と、娼妓取締規則に謂ゆる稼業とは、果して別種異類のものなりや否やを決定するに必要なる程度の記述に止めやうと思ふ。夫れにしても、論の順序は、先づ營業とは何んぞや及び、稼業とは何んぞやの意義を確定し、然る後ちに此の兩者を比照して、其の異同を論結する事にしなければならぬ譯であるけれども、形式的の定義や列擧的なる條件の説明に由る事なくして、大體の精神的解釋と常識的説明の便宜に從ふつもりである。

九、營業と稼業との蘊義

營業と云ふ熟語は、近來の新譯語である丈けに、其の意義甚だ廣汎にして、種々の異説ありと云はれて居るけれども、普通に行はる學説に由れば、「收入を得る目的を以て繼續的に行ふ私的常業なり」と云ふ事に定義せられて居るのである。而して、學者は該定義を種々に分解して居るけれども、之れを一般的なる常識的解釋に引き直して分解すると、營業の第一觀念は「國家の禁止せざる吾人の行爲」である、而して、第二觀念は「其の行爲を繼續して繰り返すが故に業」と爲るのである、更らに、第三の觀念は「其の業に由りて吾人の生活資料を得るものなるが故に謂ゆる營業」と云ふ事に爲るのである。尤も、法律的に觀た營業の解釋には、以上吾人の常識的に解釋したる觀念以外、假令、生活の資料を得る爲めにあらずと云へども、利益を得る目的あれば可なりであるとか、又は他人の名に於てにあらずして、自らの爲めにする事であらねばならぬとか、若くは、其の行爲たるや絶對的なる法律上の禁止行爲にあらざれば、相對的には法律上の禁止行爲なりと云へども、尚は謂ゆる營業たるを妨げずと云ふ事が附加せられて居るのである。

尚ほ、之の營業の意義を言海や、辭の泉、辭林、其の他の漢和、若くは、熟語等の字典に就て調査すると、「業」は「しわざ」「なりはい」「すきはひ」にして、「營業」は生計を立つる爲め、又は收益を得る爲めにと説明せられて居るのであるが其の意は「身過ぎ」「生業」「渡世い」と云ふにありて、之れを「家業」又は「稼ぐ」「稼業」と云ふ語はに對照すると「家業」は「なりはい――生業」すきはい――渡世の道」職業――生計を立つる爲めのわざ」であり「稼ぐ」と云ひ「稼業」と云ふも結局、家業と同意義と見るより外に、他の特種なる意義を含んで居るものと見る事が出來ない。然らば、此の營業及稼業と云ふ熟語は、吾人の常識的解釋の上に於て、全然同意義、同精神であらねばならず、亦實に同一の意義精神なりとして、一般に使用せられ、而かく同一解釋せられつゝあるのである。故に、萬一にも、に使用せられ解釋せられつゝある營業及稼業と云ふ熟語が、

全然別種のものであり、異類のものであると云ふものがあつたならば、夫れこそ大變な騷ぎであらうと思ふ。彼の古く言ひ慣らされて居る稼墻と云ふ熟語に付いて見るも、これを種ゆるを稼と云ひ、之れを斂むるを墻と云ふと在り、而して、われらの生業が、凡て農業であつた古るき時代の事を考へたならば、尙は更らに營業と稼業と云ふ熟語の同一意義であることを首肯せねばならぬ筈ではあるまい乎、寧ろ稼業と云ふ語の方が古いのであつて、營業と云ふ語が近來の新熟語である處より見れば、稼業なる熟語の意義を基礎として、營業なる熟語が出來たのである、之れを言ひ換ふれば、從來使用せられつゝありし稼業と云ふ熟語では、西洋文物の移入と同時に、新らしき意義を包含する「渡世の道」即ち吾人の生計を立て、又は收益を計る爲めの生業、家業を「稼業」と云ふ熟語のみに包含せしむる事が出來ないと云ふところから、營業と云ふ熟語を案出したるものなりと云ふても差支ないやうに思はれる、左すれば、尤も簡單直截に營業及稼業と云ふ兩熟語の意義と關係とを闡明すれば、稼業は、吾人の生計を立つる爲めのみの生業又は家業であるが、營業は、吾人の生計を立つる爲めのみの生業又は家業の外に、收益を得る爲めの生業又は家業をも包含して居るのである。從つて、營業なる熟語の意義には、稼業なる熟語の意義をも包含して居ると云ふてよろしい。即ち、營業と稼業との間に解釋の區別を立つる理由も無ければ必要もない、蓋し、營業と稼業との熟語には、文字の上に多少の相違があつても、其の意義は同じである、萬一にも幾分の相違ありとするならば、謂ゆる營業の意義よ、謂ゆる稼業の意義よりは、聊か廣いと云ふ丈けである、故に稼業は營業の一分類にして、其の分類を包容する廣い意味の營業に外ならないと云ふ事に爲るのであると云ふ事を斷案するに、何等の支障あるを發見しないのである。

尙ほ念の爲めに一言を附加して置きたいと思ふのは、營業には資本を伴ひ、稼業には資本を伴はずとか、營業は獨立的にして稼業は從屬的なるべしとの區別がある如うに考へて居る者もあるやうであるが、謂ゆる營業の種類を普通の學説に由りて分類すれば、(イ)農業、林業、鑛業の如く、原品生產を目的とする事業(廣義の農業)あり、(ロ)生產せられたる原料に製作を加工するところの事業(廣義の工業)あり、(ハ)既に生產せられ若くは製作加工せられたる物品を運轉するところの事業(廣義の商業)あると同時に、(ニ)身體的の勞務を提供するところの事業、及(ホ)精神上の勞務を提供するところの事業(廣義の勞働)と爲るのであるからして、營業は常に必ずしも獨立的であり、又は資本を伴ふとばかりは限らない。後段の身體及精神勞務を提供する營業は云ふまでもなく、多くの場合獨立的でなく、且つ資本を伴はないものであるけれども、矢張り、謂ゆる營業たる事を妨げないと云ふ定論に付いて考へて見たならば、可憐なる娼妓が、自らの生計又は父母兄弟の生計を立つるが爲めに服するところの業が、謂ゆる營業たる事を確定する上に、獨立的性質を缺くとか、自らの資本が伴ふて居ないとか云ふ點から見て、謂ゆる營業と云ひ得ないではあるまいかとの誤れる考へを訂して貰はなければならない。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

吾人は、娼妓取締規則に謂ゆる「娼妓稼業」なる事項の內容如何を玆に論明するの醜恥を避くるであるけれども、要するに「收入を得る目的を以て繼續的に行ふ常業なり」にして、之れを分類すれば、國家の禁止せざる行爲であり、且つ一定の場所に於て、同一行爲を繼續的に繰り返すものであり更らに其の目的は生活の資料を得るにあるのであるからして身體的勞務提供の營業なりと云ふに、何の差支も無い筈であると思ふ。尤も、吾人は斯く云へば迚、生活の資料を得る爲めに、娼妓の稼業を繼續的に繰り返へす女性の行爲を可認しやうとするのでは決して無い。人道的に自覺せる當人自身に於て之れを廢するか、國家の手に由りて之れを禁止すべき筈のものではあるけれども、國家道德の低劣なる今日の制度に於て、之れを認めて禁止せざる以上は、矢張り一種の營業なりと云はなければならないのである。然るに何んぞや、一方に於ては國家の禁止せざる私的常業として、之れを可憐なる女性に強い、貸座敷當業者に之れを公許して、不相當に高額の税金を命じ置きながら、他方に於ては、之れを營業として保護しないと云ふ、長野縣當局の裁決は、甚だ暴戾を極めたる專橫と矛盾と手心とに由る法律解釋とを以て可憐なる女性の人權を無視し、更らに權利の最低限と義務の最高限とを蹂躪したる不當不法の處置たる事を鳴らさねばならぬ。

十、結論

吾人は、尙ほ更らに、此の稼業と云ふ熟語は、我國現行法規中如何なる場合に於て、如何なる事項を指稱するが爲めに使用せられて居るのであるかを考ふるに、幾多の取締規則や指令示達等の細かきに亘りて、其の一つ〳〵を調べ了する事は、甚だ困難と云ふよりは寧ろ不能の事なるが故に、吾人の今現に目に觸れ、若くは記憶に存するもののみが、我國現行法規中に存する稼業の用例なりとの斷言を敢てする事は出來ないけれども、

先づ娼妓取締規則に、娼妓稼業なる文字が使はれて居るのと、謂ゆる遊藝人の鑑札に於て、一等稼業二等稼業と稱する遊藝人稼業との場合のみ限られて居るのではあるまいかと思はるゝのである。而して、此れ等娼妓取締規則中に貸座敷を營業と云ひ、引手茶屋を營業と云ふて置きながら、特に娼妓の出願に付てのみ稼業と云ふ熟語を使用して居ると云ふても、夫れが特段なる意義を含んで居ると云ふ譯にあらずして、從來の使用に慣れたまゝの偶然に過ぎないのであるらしい、萬一にも此點に關する相當の注意を加へられたならば、當然營業と云ふ熟語に書き改めらるべきであつたらうと思ふ。現に娼妓と藝妓とは實質的の區別なしと云はれて居りながら、娼妓同樣なる藝妓の、藝妓取締規則に於ては、藝妓を營業と云ふて稼業とは云ふて居らない。其の他、同樣類似の法規に由りて、其の例を擧示し、且つ遊藝稼業と云ふ「鑑札」に就ても「稼業」なる熟語を、他の用語に代へて貰らいたいとの運動ありしやに考へ合はし、また娼妓の税金が貸座敷當業者の營業税と共に、若しくば、娼妓直接への課税を徴收して居る處から見ると、益々稼業と營業との間に法律的區別を附すべき理由なく根據なく、寧ろ法律的の同一義と常識的の同一精神を以て取扱はるべきものたる事が判かるであらうと信ずる。吾人は識者の攻究と長野縣當局者の反省を求むると同時に謂ゆる自由廢業なる人道的規定の活用を望んで、行政訴願、行政訴訟の可能を主張するものである。

（大正六年十二月三十一日記）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

婦人過剩と貞操問題

農學博士 法學博士　新渡戸稻造

今度の大戰では隨分澤山の男子が死んだ。そして又今後何れ程澤山の男子を失ふかも知れない。その結果として甚しく女の過剩を來すであらうが、所謂女尊男卑といふ程の米國は、元來植民國である爲め男子過剩よりして、自然と女を尊ぶ風俗習慣を作つたのであるから、之れと反對に戰後に於ける歐洲各國は、男子一人に嫁十人もあるといふ樣な狀態になつて、女價の下落を免れないであらう。

併し斯樣になつたからとて、即ち男女數の不平均よりして、直に風俗が紊れ貞操が破れて來るかといふ事は大なる疑問である。勿論貞操問題は根本から變つて來るであらうが、一夫一婦の思想は千古を貫いて動かすべからざるものであらう。今日迄貞操の亂れた例は淫亂である生理的であるといふよりは、より多く生活の爲めである。經濟上の壓迫が其根因であつて、只男が欲しいといふのは病的の者に過ぎない。貞操の思想は二十年や五十年でがらりと變るものではない。況んや何千年の習慣と惰力とから云つても、婦人は正當の妻でなければ好まぬ處の要求を有つてゐるものであるから、病的なものを別にすれば、貞操觀念の根底はなかなか固いのである。而して之を亂すものは生計の困難といふ海嘯である。

或人は斯ういふ事を云つてゐる、今度の樣な世界に大波瀾を起した責任は男子にある、今迄何でも彼でも男子でしやうとしたから這麽事になつて了つたと。或はさうであらう。併し現在では男女同程度に國政に參與せしむる事は未だ問題であるが、少くとも女性に關する問題に就ては、女性の參與を要し、男子の本分は男子が、女子の本分とする所のものは女子といふやうに、お互に自覺して相共に其進歩發達を圖ることになるであらうと思ふ。私は種々の方面から考へて見た結果、然ういふ狀態になつて行く事と信ずる。戰後は目立つて其機運に進みはせぬか。若しさうなれば貞操問題に對しても、法律の制裁なり社會の制裁が、女性側より援助と解釋を人類の向上と祉福の爲めに受くる事が尠くなるであらう。

今度の大戰は女を殖やしたと同時に、女の職業をも非常に擴大した。從つて獨立の生活を營む婦人が多くなり、所謂女天下の世となつて、却つて貞操の亂れる因となりはしまいかと思はれる位であるけれども性慾は教育と反比例するものであつて、理性が發達すれば性慾は衰へる、戰後の女子教育は必ず高まり、結婚期は著しく後れる樣になるから、晩婚の弊害も亦生ずるがそれは暫く措いて、教育の結果としては性慾の要求は少くなつて來なければならないのである。故に貞操に關して外部に表はるゝ處は、戰後と雖も從來と大した差はあるまいと思ふ。殊に一方に廓淸會の如き純潔運動が最も盛んに行はるゝであらう。

先に貞操問題が根本から變るといふたのはその思想に就てゞあるが、抑も貞操とは何であるか、その義務權利、理由なぞの解釋のしかたが變つて來るであらうといふのであつて、事實に表はるゝ方面には先づ何の變化もないであらうと信じてゐる。

私は學術的豫言者であるウエールスの著書を愛讀してゐるが、今度の戰爭も彼は豫言してゐた。而して彼の豫言によると戰後道德的問題が根底から變るであらう、男女問題も變るであらうと云つてゐる。併し如何に變るかに就ては斷定し兼ねてゐる。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

兒童虐待に就て

ドクトル　三田谷　啓

人類の慈愛心を禽獸に及ぼさんとして或は鳥類保護會を造り、或は獸類虐待防止會等のものを起せる傍にありて、尚ほ兒童を虐待し、甚だしきは之を死に至らしむるものあり。蓋しその因つて來るところは千態萬狀なるべし。然れども人類が同じ人の兒を虐待し、甚だしきは之を殺すに至るを思へばその悲慘なる狀況に對して寒心せざるを得ず。

予偶〻我國の新聞切拔集を繙き一定の目的を以て調査せんことを企てたるに、其切拔の中に兒童虐待記事の散見するもの實に望外に出でたるに心づけり。予は暫時驚きて呆然たり。茲に於てか予は予が目的の對象とするところを調査する傍らこの兒童虐待の狀況をも併せ調査せんことを企てたり。

新聞記事のうちには、其記載方の要旨を觀れるためこれを學術上の方面より見て採用し難きものあり。又悲慘なる事實が新聞の記事として現はれざるもの多かるべし。又寸秒を爭ひて報道せらるゝ新聞記事のことなれば絶對的の正確を望み難き場合もあらむ。然れども予が今回これを調査せし目的は新聞記事の蒐集を以て一先づ滿足せざるべからず。何となれば予はこの調査によりて、兒童虐待の原因及び方法其他に關する概綱を學ばんと企てたるがためなり。若しそれ各個の例につきて具さにこれを調査すべき時日を得ば、その得るところの成績は益々確實なるものとなるや言ふを要せず。

西洋諸國の例につきて敍述すれば面白きことも多かるべけれど、何れそれは後日追補することゝし、余は今直ちに予が調査の事項に關しての記述に移るべし。

調査の事項は東京切拔通信社に命じて行はしめたる日本全國の新聞中より抄錄せしものなれば、今一々新聞名を列擧する要を見ず。予が調査は右新聞切拔を材料とし其時日明治四十三年八月より大正四年二月に至る間のものを集めたり。この例實に百十六とす。實際の例は尚ほこの外に多數あることは言ふまでもなし。

予の材料による兒童虐待の件數左の如し。

實子を虐待せしもの	八四
實子を虐待せしもの	一八（共謀ヲ一ト數フ）
孫を虐待せしもの	四
内縁の妻の子を虐待せしもの	一
先夫の子を虐待せしもの	二
子守が子を虐待せしもの	二
先妻の子を虐待せしもの	一
同胞	一
不明	二
計	一一六

□兒童虐待の方法

兒童虐待の方法は次に掲ぐる表に於て

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

現はるゝが如く種々あり。然れども其間に一種の要約あることを發見し得べし。即ち虐待者の身分によりて異なることなり。虐待者が父なるときは多く絞殺又は刺殺等の方法を選み、母なるときは絞殺、刺殺等の外に投水、縊死、壓殺等の方法を選むもの多し。貰子殺しと稱せらるゝものは多くは營養供給を節減し身體に持續性の危害を與ふるが常とす。これ等は均しく兒女を死に至らしむる目的を有すれども突如として死亡せしむるは發覺の恐あるが故に徐に死を惹起せしめんことを期するなり。左に其方法及び虐待者の種類別を擧げんとす。

虐待の方法＼虐待者別	父	母	父母以外の親族又は他人	養父母	義父	義母	不明
絞殺	一二	六(内一未)	—	二(内一未)	—	二(内一未)	—
壓殺([illegible])	—	八	二	二	—	—	—
刺殺	一四	八(内二未)	—	—	—	—	—
營養不良をなし、又身體に危害を與ふ	—	二	一	一三四	一	二	—
投水十(河水、井水、風呂等にせしもの)	一	三(内二未)	—	—	—	一	—
縊死せしめしもの	一	三(内四未)	—	—	—	—	一
毒殺	一	二	二(内一未)	—	—	—	—
棄兒	—	—	—	—	—	—	一
火力にて殺せしもの	—	六(内四未)	一	—	—	—	—
撲殺	八(内三未)	—	—	—	—	—	—
其他の方法にて殺せしもの	六	二	—	三	一(未)	一	—

十便壷に投じたるものを含む表中未とあるは未遂の略

表中の數字は虐待を受けたるものなれば虐待者數と一致せず。即一人の虐待者が同時に數人を虐待せし等の例あれば也倘ほ更に重要の事項あり。即ち兒童虐待の原因これなり。

兒童自己の立場より見れば虐待されたるに當れどもこれを取扱ひしものより見れば虐待にあらずして却て恩惠の手段なりと考ふるものあり。例へば父は死し母は病みて子女を育てんに術なき場合に若し母死せば子女は忽ち世の中にて辛酸を甞めざるべからず、それよりも寧ろ親兒諸共に幽明處を共にするを優れりと考ふるが如し。

兒童を虐待して次に自ら死亡するもの多し。行爲の發覺を恐れて自殺するものもあるべし。或は自殺を斷行するに方り先づ子女を殺し置くものもあらむ。或は嫉妬の如き原因にありてはアテツケ即ち面當に暴行を敢てするものあり。第一例の如きは即ちこれなり。

兒童を殺害し次で自己も死亡せんと企つるもの、如何に多きかは左の表を見れば明なり。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

自殺方法／男女別	投身	刺傷死	縊死	放火死	中毒死	轢死	其他	計
男	三（内未二）	五（内未三）	七（内未一）	一	三（内未一 生死不明一）	—	二（未）	二八
女	五（内未二）	一〇（内未六 死不明一）	七（内未二）	二	二	八（内未一）	一（未）	三五
計	八	一五	一四	二	五	八	三	五五

予の調査材料の小虐待者が生命を捨てんとせしもの（自殺者及び自殺未遂者）は實に五十五名に上る。其中自殺未遂者二十一名及び生死不明二名を減じたる殘り三十二名は自殺の目的を果したるものなり。

右の表中興味あるは刺傷死なり。兒童を虐待して刺傷死に陥らしむるものは割合に男子に於て多し（予の例にありて父によるもの十四人、母によるもの八人。其内未遂二人。）然るに虐待者自己が生命を棄つる場合に刺傷死を遂ぐるものは男子よりも女子に於て多し（男五に對し女十。）轢死は多くの場合女性（予の例には男性なし）にして兒を抱き又は負ひて鐵道線路に投ずるを普通とす。これ等は素より兒童虐待と言ふと雖も亦自殺の條下に於て論ぜらるべきものなり。又自殺者の性別は男子が女子よりも多きを通則とするに反して兒童虐待者の女性の自殺するもの男子より多きは注目すべきことなり。

これを要する兒童を虐待して死に至らしめ後自殺するもの丶方法は予の例に於て刺傷死を最多とし（一五）次で縊死（一四）とす。これに續きては投身及び轢死（各八）、次で中毒死（五）、放火死（二）なり。

養子殺し（貰子殺し）の場合にありては其目的只兒童を緩徐に死殺するにあるが故に殆んど虐待者の自殺を圖りたるものなし。

□兒童虐待者の身分

兒童を虐待して死に至らしむるものは父母其主をなす。これ等は概ね突如として兒童を殺すにあり。養父母が所謂貰ひ子殺しを斷行するは突如死にあらず。即ち此場合にありては兒童を營養不良に陥れ併せて之に身體危害を加ふるなり。故に兒童は漸次衰弱して其狀殆ど病死に髣髴たり。これ其唯一の手段なり。貰子殺しは一種の商法なり。實例を見たるものは其慘虐なる手段に戰慄すべし。予の材料にありても此等の例を見ること少からず。

□其の原因

兒童虐待の原因を研究することは本論の眼目とするところにして予の勞力の價値も亦この點にあり予は先づ予の例につきて統計せるところを掲げんとす。（表中の數は虐待者の數なり。夫婦共同の場合は之を複數として算せり）故に實例番號數と本表の總數とは符合せず。左表に掲ぐるところは新聞記事に現はれたる儘をとりて調査せしものなれば必ずしも絶對的の確實を保證すること能はず。眞の原因ならずして誘因なることも

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

原因＼虐待者	實父	實母	養父	養母	義父母	其他	計
生活難	九	一三	—	一	一	一	二五
嫉妬	三	三	一	—	—	—	七
私通姙娠(分娩)	二	七	—	—	—	一	一〇
悲境を厭ひて	一	三	—	—	—	—	四
家庭不和	二	五	—	一	—	二	一〇
子の放蕩を憂ひて	一	—	—	—	—	—	一
夫の病を苦にして	—	二	—	—	—	—	二
子を亡ひて	—	一	—	—	—	—	一
離縁	—	一	—	—	—	—	一
子の病を苦にして	五	二	—	—	—	—	七
自己の病苦によりて	一	一	—	—	—	—	二
實子に家財を譲らぬため	—	—	—	一	—	—	一
貰子殺し(金を目的にし)	—	—	—	—	一八	—	一八
放蕩	三	—	—	—	—	—	三
女兒は國家のためにならずとして	—	一	—	—	—	—	一
再婚が出來ぬとして	—	一	—	—	—	—	一
其他	六	一四	一	—	一	三	二五
計	三三	五四	二	三	二〇	七	一一九

あるべし。然れども右の表に於て概略を察知することを得べし。

表の示すところに據れば虐待者の最も多數を占むるものは實母なり。これに次ぐを實父なりとす。養父母の數は割に多からずと雖も、而かも養父母が虐待せし兒童の數は實に望外に出づ。この事に關しては後の條下に於て述ぶるところあるべし。

虐待の原因を見るに予の例に於て最も多きは生活難なり。（二一・〇%）之に次で多きを貰子殺し（一五・一%）とす。又家庭不和（八・四%）及び私通姙娠（分娩）（八・四%）等の割合に多きは大に注目すべきことなり。

□隣の噂□

何處の遊廓管轄署でも、何ういふものか人民保護の眼目を忘れて徒ら樓主の營業を保護する、所謂財產保護にのみ沒頭して居るのが通例だが、今度洲崎署長に轉任した角南警長は、夫と全く反對で先達も廓内の風紀が紊れて居るといふ事を耳にするが早いか、早速部下に命じて貸座敷、待合、飲食店の全部に臨時點檢を行はしめ意外な多數の違法者を出して、容赦なく罰したさうであるが、何うぞ其の意氣を永く忘れないで貰ひたいものだ。▲それと話は違ふが、東京市内の藝妓並に夫等に類する者は、來る四月より愈々廢業させる事に決定したさうだが、此事に就て世間の噂が頗る面白いといふのは、從來藝妓の税が餘りに酷過ぎて可哀相だから、今度は一切藝妓に對して課税せぬ事にしたのださ。成程そんな見方も滿更不合理ではなからうが、廢業にした其根本はそんな斷片な理由ではない、凡ての點に於て殊に檢黴といふ問題に就て、手輕に埒があるからであつて、實に府廳の遣方は當を得た策だと讚嘆して居る者がある。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

管中の鳴門海峽

神秘の光は流れ。生々の力は迫る、宇宙の大學に、又も一年の新學期を迎ふる時、新しき一白の心紙、一管の心筆に感激の聲なからんや。

彼の蒼々たる天、何を語り、洋々たる海、何を論ずる。去來する雲、雪、雨に無限の思想は湧き、彼の山岳平原、此一草一木に無心の力は溢る。人類は此講演を念寫すべき一管一白以上の筆紙を有す藁の一管も海に浮びて波に順へば、鳴門海峽の渦も通過する如く、更に必なく我なき太虚の心筆、昨非を洗去りて字なく墨なき純白の心紙を以て宇宙思想、宇宙意志の無線電を寫得ば、音波光波の輻輳に驚くなるべし。人類は此波濤を集中するの凹鏡たり。直受するの受話器たると與に、又反射するの凸鏡たり送話器たるの情操を有せざる可らざる也。

廓清春秋

河合北洲

山は自ら高く、川は自ら流る、人類も亦其器を抱きて、山と峙ち、川と流る、峙つものは土壤を讓らざるが故に愈々高く、流るゝものは一水を棄てざるが故に愈々大ならんとす、思想と意志の重力も重力の理法が一尺を下る毎に、加速度を以て墜下する如く、遭會の度を重ね、熟練の堂に上ぼり、精神の統一を恣にするに隨ひ、勞少くして功多く、遂に萬有の理法を超越して神秘界に達するに至る。

宇宙の學科は至眞至善至美に活くる如く、人類も亦眞善美に動くべきの動機と意志を有す、然も有すものゝ有せざるに終るは、思想の暢達せざるが爲也。自已暗黑の杖に欺かれて向上の阪路を忍耐せざるが爲也、而して俯仰天地の新生面を開かざるが爲也、新生面と不斷の活動を以て主義に斃るゝは斃るゝに非ざる也。主義は道也。道は不朽也。不朽の道に斃るゝは則ち永生の途に上ぼれる也。

人生の價は思想の總計にして、意力の分量也。總計と意力の鹽梅を計るべく三百六十五の計量器は備へらる、如何にして此計量器を刻むべきや一年の計は元旦に在りと云ふ既に刻める或者ありや否や

皮裏に動くもの

日に新に、又日に新なるの生活は、日に生れ、又日に生るゝの生活也。日に生るとは水と靈よりして宇宙の眞善美に沒入するの生活也。寧ろ眞善美を生誕するの苦勞也。

人類は大宇宙なる眞善美の中心に生活し、小宇宙なる眞善美を中心として生活す、然もその面々相照らさゝるのみならず、偶々相照すも電光石火の感激に過ぎざるのみか、多くは路人相知らざるの極端に、俗惡これ極むる所以のもの、一に接觸すべき外皮の鐵面に妨げらるゝ甚しきものあれば也。二に心々相窺ふべき眼孔の閉塞に妨げらるゝ甚しきものあれば也、私利私慾の鐵銹びたる鱗俗風惡慣の鉛化したる瞼、斜視近視の瞳孔は人生をして試錬の痛ましき刺、死の大なる鞭を受くるに非ざれば直覺し、悟入し、新生

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

する能はざらしむるに至る、此世の子たるものも亦禍なる哉。

偉大なるもの。壯嚴なるもの、靈妙なるもの、楚々として皮裏に動く、動くは則ち動くも、之を自覺し、敬重するに至らずして、賽の河原に瓦石を積むの兒戯に沒頭し、而して其下積たらん事に汲々たり、營々たり、權勢、虛名、濁富、利達の內羨と外迫は、國をして國と戰はしめ、心をして心と鬩がしむ。人類の自己煩悶は世界を戰爭に投じて、各々悔なからしむるに至る。

水と靈。而して濶然として靈眼を開けば、鬪ふべきもの何處にかある。羨むべきもの何物かある、小宇宙の心鏡は則又大宇宙の心鏡にして、只眞善美の動くを見るのみ、寧ろ眞善美の我內に生誕するを見るのみ。

海邊の松

花彩列島を以て呼ばれ、蜻蜓洲を以て自任する日本は、其國土既に華奢に、其氣候は溫暖、其風景は箱庭、其國民は神經質、其動作は火山的、其人情は優柔、其歷史は蘆の湖の平靜に、其議會も政治も村雀の囀づるが如く、凡て是女性的、消極的の前景背景中、珍らしくも海波を縫ふ白砂の針葉樹に、龍蛇の氣を吐くを見る。

潮風鹽氣を吐きて、死の突擊を試むれば、千古の翠愈々濃かに、反坑的の繁茂を脅かすあり、潮水連りに足を浚へば、以て我武を揚ぐるに足れりとなし、鐵腕鐵脚の赤裸々に頑健愈々健ならんとす、千草百樹を洗ふの海嘯にも、只黑威しの鎧を着けたる武士的黑松の屹然として自重するを見る。

世界に事あり、風潮逆潮晉ならずして民草の徒らに動搖するとき、我國家は將さに龍蛇の氣を吐かざる可からず、我國士は常に反撥的黑松の心操なかる可らず豈に獨り松柏の凋むに後ちするが如きのみならんや。

懸賞文募集

——(賞金壹百圓)——

□**課題**
一、男女の貞操
一、公娼の全廢

□**賞品**
一等　金牌二名
二等　銀牌二名
三等　五圓圖書切符六名

□**選者**
植村正久氏　安井哲子女史
安部磯雄氏　矢島楫子女史

□**規定**
男女學生に限る（在籍學校明記の事）
廿四字詰三百六十行以內（文體式は自由）
締切二月廿八日（封筒には懸賞文と朱書の事）

□**發表**
大正七年三月後の『婦人新報』並『廓清』誌上

日本基督敎婦人矯風會
東京市赤坂新町（電話芝一七五三番）

米國婦人の活動

廓清會理事　益富政助

左は益富氏より余に與へられたる私信であるが、我等の參考となるべきものが多いから、其一節を複載する事とした。（江南）

別紙十月の一日に書きかけて今に出せませんでした。僕としては君に對して初回の通信だから須らく堂々たるものを一つ之に添へて……とさう思つて居た。處が却々それが出來ぬのです。材料がないかつて。材料は山程さ。餘り材料が多くて、どれをどう捕へてどう論じてよいか分らぬやうなものだね、田舍娘が三越に行つたやうなものさ、目が舞つてしまうんだよ。僕をして時を得せしめば、先づ

（一）米國に於ける婦人參政權運動の成功
（二）米國百萬の軍隊間に於ける貞潔運動
（三）米國各地軍營所近の風紀廓清運動附女子基督教青年會の活動、
（四）戰時に於ける米國婦人
（五）フレックスナー博士と語る（歐洲娼妓制度論の著者）に

どうだ題を見た丈で涎が流れるだらう。

□

先達ての參政權運動者の行列には涙と涎を流しつゝ長い間立つて見ました。堂々たるものですよ。それはそれは。涎を流したのは羨ましいのです。日本でこんな婦人の權威を何時見られるだらうと想像して見ましたが、涙が出ますね、迚も、今度の處は。男子の壓迫が強いから許りではない。第一は婦人其のもの、見識、學問、品位。も一つは歩行の姿、姿などはどうてもよい樣なものだけれども、そうではない、示威運動にはそれが第一の條件ですよ。軍樂隊に合せてゾク、ゾク、ゾク。一絲亂れず一列五人、而も一間半許りの間隔を置いて二萬人の婦人の――大學教授より、百姓、看護婦、女工の代表者に至る迄――が靜かに而かも威勢よく行軍する有樣は何とも申されない行列其自身が實に崇美だよ。日本婦人は近代の若い女性までもまるでお婆さんの樣に、鎌足さか何とかいふ不自然極まる歩み振りで、而も草履か下駄では、想像しても迚も男子に對して婦人の威を示すには足りませんね。

處でサフレヂストにはタイムス始め有力なる新聞が反對です。だから結果如何と危ぶんで居ましたがね、勝ちましたよ勝ちましたよ、しつかり勝ちました。一昨日のタイムスには、獨逸種米人の後援投票で勝つたのだなど負け惜しみを書きましたから、また婦人連がおこりました。

□

要するに今後の婦人の活動は見ものです。殊に禁酒、婦風、兒童、家庭、教育どいふ方面に、大々的活動を見ませう。何れ目下の處不偏不黨を稱へて居ます。何れにもせよ殆んど半分に近い投票數が婦人から出るのですから、婦人連の意見を採用せないと代議士でも、市長でも、郡長でも知事でも裁判官でも、乃至大統領を選ばぬさ來るものですからね、茲迄行くと愉快なものです、裁判官さ申せば彼等は今度陪審官になる要求をしてゐます。出來ませう、確に、（十二月十七日）

遇感數則

福井壽郎

伊藤さんがいつも乍ら清淨なる會誌を御送り下さいまして、私はそれを有難く頂戴すると同時に常に一種慚愧の心を以て自分を誡められる。お前はこの清鮮なる雜誌を頂戴するに恥づかしくないだけの品格と理解と定想とを持して居るか。お前自身は清鮮なる情操の權威を知つてゐるか。

勿論私は少しの緣で伊藤さんが雜誌を御送り下される御心持ちを知つてゐる。

私の樣な未熟な醜汚な人間をも人の端にしてやりたい。幾分かは事の條理、人間としての自覺、それ等のことがよしや不束な人間に呑み込めぬ迄も、泥棒は惡いこと慈善は良いこと、これを悟れる樣にしてやらうとのお心からと存じて、いつも自分の行ふ事がステップ、ステップに良くなる樣には心がけては居ります。

けれど、悲しい哉、伊藤さん私の心は動搖してゐます、あまり醜汚なる文字を列べる前に先づいつもあなたに私は雜誌をお送り下される御禮を申上て置きます

伊藤さん私の心はたへず搖れてゐます悲しむべきか將た喜ぶべきか。風に吹かれる枯れ落葉の樣に時のまに翻弄せられてゐるのです。

所謂文明の衰微なる思潮が波の一搖れ、風の一動によつて流れ去り流れ來り、飛び來り吹き飛ばされるもので其の波其の風に運び去られざれば所謂當今の文明を語るに足らずにあらずとするなれば乃ち止む。自己の最善を以て最善とし自己の眞と信ずる所を以て眞となし美は以て美となし定想の下に確固不拔の信念を抱いて進むのが良いのか。

波の搖れにゆれるが良いか、定想の下に時世と妥協せず一人自ら清うして超然たるが良いか。

何が何だか全くとりとめのない考が私の頭の中にある。私は空漠たる此の地上、飯を喰ふ一介の人間。

おい福井壽郎！　お前は一體どうするのだ、每日算盤をはじいて、サラリーで食つて、生とは何だ、こう尋ねられたとき、已れには解らぬ、斯く答へて行きつまらざるを得ない。

お恥かしい事乍ら未だ人が何で生きるのかわからない。何で生くるのかなれば尙良い。時には食ふ爲めに己れは生きて居るものに違ひない斯く考へられる時は私は悵然として、これではならぬと思ふ、が思ふばかりでやつぱり駄目だ。

伊藤さん、人は何の爲めに生きるのでしよう。私には生きられるから生きるとよりは思へない、さりとて死を恐れるのではない。死か生か此所に私の全てのものに對する疑の根抵がひそんでは居まいか。

いつも廓清を御送り戴き乍らクリスチャンになりません。佛敎は敎會にも行き乍ら會員にして戴かない私と云ふものや、他の幾多の敎へによりて自分の安定を求めんとして時々は本に目を移します。けれど一度迷ひ路に足を踏み入れて有ゆるものが疑問の裡に彷徨し初めたものは、何をつかめば解脫の時が來るのか。

基督は自ら謙讓たれと云ひます。併し臆面もなく云へば左の頰を打たるれば對手の兩頰をいやと云ふ程なぐりつけてやりたいのが私の性分です。

眞實に對して眞實を以て仕へ虛僞を弄するものには虛僞を以て答へてやる。私の前にある人は私の鏡の樣な氣がします。あなたは輕遊だと私に云ふものに對しては私はお前が輕薄だからだと云ひます。口幅つたい言葉ではありますけれど私はそう信じて居ります。

恐らく私は生れ落ちるなり山奧に捨てられて、日出でゝ耕し星現はれて家に歸る生活に這入つて居つたならば寧ろ幸福ではなかつたかと思はれます。

搖られ搖られる日々の生活進まんとすれば動搖あり動かざらんとすれば目を瞑るより外はない。

その目を瞑るにも有らゆるものが疑問になる。

併しいつかは此の疑問が私を徹底させてくれるのではないか。疑問の謎がとけたとき徹見するのではあるまいか。

廓清を頂戴する每に私は藝娼妓を氣の毒だと思ひます、けれど醒つて考へる時は彼等を要求する社會に缺陷がありますまいか。

考へて見れば娼妓は氣の毒に違ひありません、賣笑の事實を自ら偶然たりと考へず恥羞なりと感ぜざるは確かに不幸です、自ら自覺しつゝも黃金の爲め狀勢のため自ら貞操を蹂躙に委して居なければならぬ境遇に置かれてあるとは何と云ふ悲慘なファクトでしよう。

併し乍ら多くの彼等の群は自己の所爲に對して疑を抱いて居るでしようか。其のまはりにある社會は彼等の存在を當然と考へては居はしまいか。

否々、社會は實に不公平です勢力あるものが惡事をなすとも當然としてゆるされ普通人が普通の事を爲しても法に問ひて之を束縛せんとするのが今の社會です惡風と缺陷とは今や既に此の社會に漲つてしまつて多くの世の人はそれを當然としてゐるのである。富豪は如何、宗敎家は如何、學者は如何、牧師は如何、實業家は如何、私は唯だ徒に聲を大にして此の如き叫びを上げるのではない。

何が惡いとて道をとき人を敎へ、衆人の師表たるべきものが亂れた行ひ、不純なる思想を抱いて自己の爲めの宗敎、學問、道德をつくらんとする程いやしむべく悲しむべき呪ふべきものはない。（六年十二月六日）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

最近の廓清運動

□本部大演說會

十二月六日午後六時、神田青年會館に於て本部主催男女問題大演說會を開く。伊藤秀吉氏開會の辭を述べ第一席に安部磯雄氏「公娼の需要と供給」と題して例の如く明快に公娼制度の非を鳴らし、第二席伊藤富士雄氏は「娼妓生活と監獄生活」と題して得意の諧謔を交へて悲慘なる奴隸狀態を訴へ、第三席高島米峰氏は「敎育者としての女子」と題して快辯縱橫女子の本分を論じ、第四席島田三郎氏は「國民の猛省を促す」と題して雄辯滔々世界の大勢を說いて國民の覺醒を促し最後に醫學博士藤浪剛一氏は幻燈を應用して花柳病の慘毒を眼前に示して大に警戒を與へ。多大の感動を與へて十時散會した。

花柳病の害毒を數ゆる爲めに幻燈を應用したるは今回が始めてなるが、今回の好成績に鑑み今後屢々應用したいと思つてゐる(此日來會者約千人。即時入會者三十名を得た)。

□埼玉縣廢娼運動

埼玉縣に廢娼運動を起すの議は、屢々本部の議題に上つた處であるが、今回愈々群馬支部長德江亥之助氏竝に副支部長森川抱次氏の熱心なる盡瘁によりて其の第一擊を熊谷町に於て打擧ぐる事となり、本部伊藤主事は先づ埼玉縣廳に岡田知事を訪ふて本問題に對する意嚮を尋ね、且つ我徒の主張を告げて其諒解を求めたのであるが、十二月十六日午後一時より、熊谷町劇場に於て大演說會を開いた。醫師鈴木卓郎氏司會、町長荒木度三氏開會の辭を述べ、森川群馬副支部長登壇群馬縣と栃木縣との衞生風紀狀態の統計を基礎として詳說し埼玉縣の反省を求め、安部磯雄氏は「風紀問題」と題して、子孫の爲めに貯金するよりも、行を積んで優良なる子孫を得る樣にせねばならぬ、偉人の後に二代なきは所謂貯行の心掛なき故なりとて、滔々一時間餘最も明快に論じ、德江群馬支部長は「埼玉縣民に告ぐ」と題して簡單に廢娼の急務を說き、島田三郎氏は最後に「聖代の汚點」と題して一時間餘に亘る大演說を試みられ、非常なる喝采裡に散會したるは五時、來會者は土地の一流の者を集め約五百名。多大の感動を與へた。續いで牧師八木小兵衛氏斡旋の下に有志晩餐會を旅館に開き、席上德江氏の挨拶あり懇談七時散會した。出席者左の如し。(次第不同)

荒木　度三氏(町　長)　齋藤誠之亟氏(資產家)
熊谷繁三郎氏(農學校長)　櫻澤　千藏氏(會社長)
鈴木　卓郎氏(醫　師)　齋藤茂八氏(町會議員)
洞上　仁齋氏(醫　師)　石山伊之助氏(技　手)
倉上　由一氏(醫　師)　八木小兵衛氏(牧　師)
明石　有隣氏(醫　師)　北澤　繁松氏(牧　師)
島田　三郎氏(會　長)　德江亥之助氏(支部長)
安部　磯雄氏(副會長)　森川抱次氏(副支部長)
伊藤　秀吉氏(主　事)

尚此日伊藤富士雄氏も態々東京より來援せられた。

編輯の後

▲先づ大正七年も明けましてお目出度うございます。多數の方から早々賀狀を頂戴しましたが、一々御答禮を申上ぐる事が出來ませぬから、此處で謹んで皆樣の御清福を祈り、併せて今年に於ける廓清運動の爲めに一層の御盡瘁を懇願致します。

▲廓清會もこれで七回目の新春を迎へた譯で、本年はごうしても大飛躍を試みなければならないと思ひます。それには會員諸君の御熱心なる翼贊と後援とに俟つ外はないのですから、諸君は茲一二ヶ月の間に同志の士女一二人を必ず作つて、本會の勢力を倍大する事を實行して頂き度いと思ひます。

▲昨年の總會通知狀と共に入會申込書を差上て御勸誘を願つた時も可なり効果がありましたが、やはり熱心な方は一人で十人もお募りになりますが、丸つきり握り潰しになさる方も隨分ある樣に思はれる。會員の一人二人を得るといふ事は左迄困難ではあるまいと思ふのですが、ごうか本年は年の始めに誰人も會員のデュウヂイとしての實行を願ひたいと思ふ。毛利元就の子供等に矢を折らした話は我々は小學校の時に教はつた事であるが、唯一人の募集が本會の勢力を如何に強大にするかは、本部に居らなければ痛切には感じられますまいけれ共。奮つて御勸誘を願ひます。

▲それには何よりの彈丸であり武器である此の雜誌が僅に七錢の會費の中から出版して行くのですから、或は多少貧弱の感があるかも知れぬと思ひますが否社會からは非常に重要視され意外に注目を惹いては居りますけれ共、編輯者としてはせめて今八頁もあつたらとつくづく感じます。彼の家族制度問題號位の厚みがあると隨分内容も整へる事が出來ます。

▲併し御承知の如く紙價の暴騰、戰前一連二圓臺であつたが八圓臺になつた程でありまして、本會の會費五錢を七錢にした時すら一連(五百枚)五圓になつたと云つて驚いた位ですから、八圓の今日は當然會費の値上げか、然らずんば雜誌の縮少をせなければならぬ運命に迫まられてゐます。

▲そこで諸君にお願したい事は、會員を募集して頂く事と、會費の滯納のない樣に願ふ二點であります。此七錢といふ會費によつて此れだけの雜誌が出た上更に演說會其他の廓清運動を行ふのですから、此邊を御諒察の上、主張の徹底の爲めに勇往邁進する事の出來る樣御助力を祈ります。

▲雜誌が十二月號と一月號と共に大分發行が遲れましたのは都合により書記(角猪之助君)を解職しまして、まだ後任者を得ないからでありまして、二月號迄には適任者を得て定日には差上げたいと決心して居ます。(江南)

大正七年一月一日印刷納本 (毎月一回一日發行)
大正七年一月一日發行　一部金七錢郵稅共

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生
印刷所　京橋區弓町十三番地　千代田印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會發行所
電話本局六二四番
振替東京二七〇七二番

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

◉御注文の際は必ず雜誌『廓清』による旨を申添を乞ふ◉

産婦人科。小兒科

女醫 鷲山改め 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京至誠病院

東京市麴町區飯田町四丁目三十一番地
電話番町二二五七番

山室軍平氏著
社會廓清論
特價七十錢 郵税八錢

グレゴリー氏著（邦譯）
歐洲諸國醜業公認制度廢止運動
特價稅共十錢

伊藤秀吉氏著
娼妓自由廢業案內
特價稅共十二錢

酒きらひになるくすり

どんな酒煙草のみでもからだに少しも害なく心からきらいになること妙 郵劵二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論を進呈

藥を飲むと

禁酒丸
一週分一圓
二週分一圓九十錢
三週分二圓八十錢

禁煙液
五拾錢
壹圓
壹圓五拾錢

煙草きらひになる藥

本舗 大阪靭南通二丁目 森田商店
電話土佐堀二六〇二番
振替大阪三三一二六番

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌「廓淸」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他

院長診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話番町六二番　**東洋内科醫院**

院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番　**南湖院**

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎朝　但祭日及日曜及土曜之他

●廣告主へ御用の際は必ず雑誌『廓清』による旨御申添をこふ●

謹奉賀新年候

弊店は本店を東京駿河町に、大阪、京城、大連に支店を有し、呉服太物を始め日用品を悉く取揃へ陳列し、而も品質の精選と價格の低廉とを旨とし萬事御客様の御便利をのみ相圖り候やう心掛居り候間何卒御誘合され御來觀の上御用仰付け下され度偏に奉願上候

東京

三越呉服店

効力五倍以上の
クラブ歯磨
CLUB HAMIGAKI